

令和4年2月9日

# 令和3年における 特殊詐欺の状況について

警視庁犯罪抑止対策本部

# 目次

## 1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 4
(3) 預貯金詐欺	・・・ 7
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 10
(5) 還付金詐欺	・・・ 12
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 16
(7) 金融商品詐欺	・・・ 17
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 18
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 19
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 19
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 20
(12) 特殊詐欺全体に占める金品手交等の種別割合	・・・ 23
(13) 犯行予兆電話の通報件数	・・・ 23
(14) 犯行利用電話の種別	・・・ 24

## 2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 25
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 28

## 3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体	・・・ 29
(2) 金融機関による未然防止	・・・ 30
(3) 被害者の被害金調達状況（全体）	・・・ 31
(4) 金融機関における被害金調達	・・・ 32
(5) 金融機関窓口による未然防止率	・・・ 32
(6) 未然防止の好事例	・・・ 33

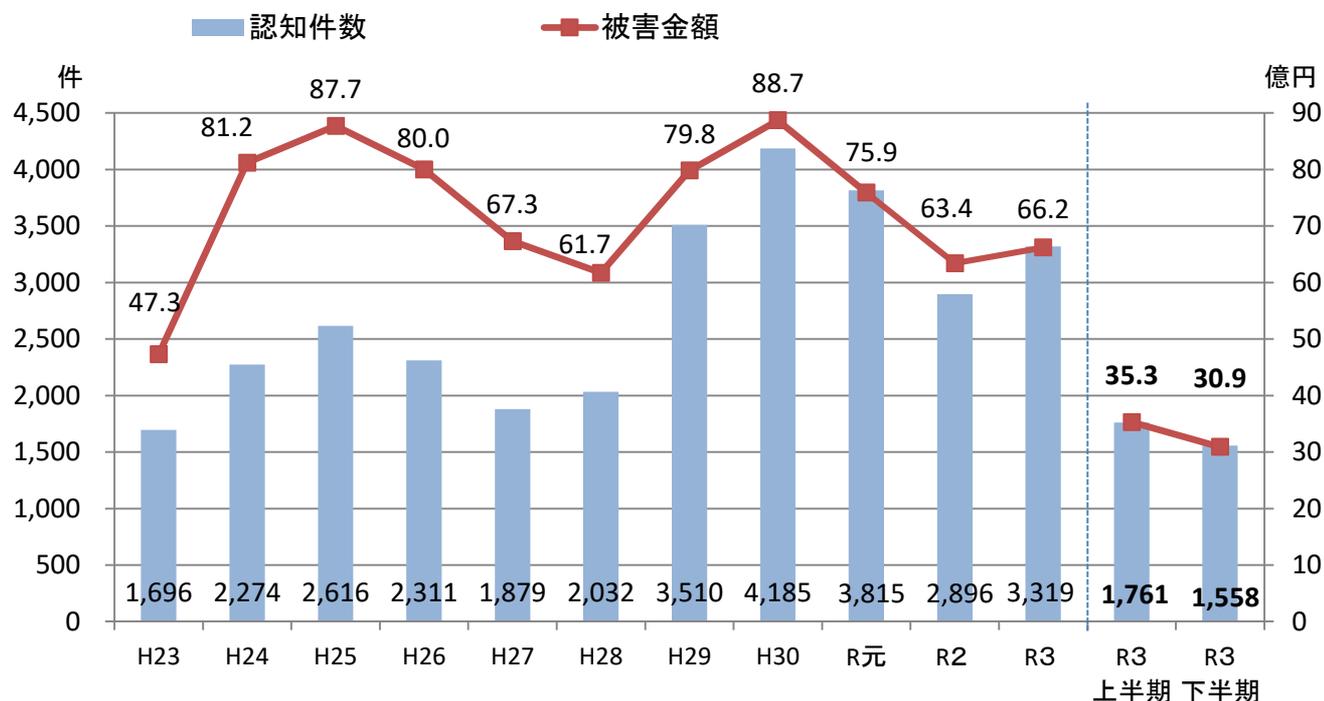
※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す。（約は省略）

※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝を含む。）の総称  
なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する。

# 1 被害状況

## (1) 特殊詐欺全体

### ア 認知状況の推移 (H23~R3)



※ H23年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

### イ R3年における認知状況

		オレオレ詐欺		預貯金詐欺		架空料金請求詐欺		還付金詐欺		融資保証金詐欺		金融商品詐欺		ギャンブル詐欺		交際あっせん詐欺		その他の特殊詐欺		キャッシュカード詐欺盗		合計	
		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂	
認知件数	R3年	815	(718)	777	(749)	164	(163)	891	(889)	16	(16)	0	(0)	4	(4)	0	(0)	0	(0)	652	(649)	3,319	(3,188)
	R2年	566	(513)	678	(654)	159	(158)	700	(700)	25	(25)	16	(13)	10	(10)	2	(2)	0	(0)	740	(731)	2,896	(2,806)
	前年比	+249	(+205)	+99	(+95)	+5	(+5)	+191	(+189)	-9	(-9)	-16	(-13)	-6	(-6)	-2	(-2)	±0	(±0)	-88	(-82)	+423	(+382)
	増減率	+44.0%	(+40.0%)	+14.6%	(+14.5%)	+3.1%	(+3.2%)	+27.3%	(+27.0%)	-36.0%	(-36.0%)	-100.0%	(-100.0%)	-60.0%	(-60.0%)	-100.0%	(-100.0%)	-	-	-11.9%	(-11.2%)	+14.6%	(+13.6%)
被害金額	R3年	2,590,638,401		1,051,684,471		512,330,656		1,238,699,981		28,571,634		0		11,233,000		0		0		1,188,370,361		6,821,528,504	
	R2年	1,930,937,685		1,185,361,444		573,477,444		1,184,719,809		50,765,434		74,787,679		30,969,726		2,810,000		0		1,307,278,692		6,341,107,913	
	前年比	+659,700,716		-133,676,973		-61,146,788		+53,980,172		-22,193,800		-74,787,679		-19,736,726		-2,810,000		±0		-118,908,331		+280,420,591	
	増減率	+34.2%		-11.3%		-10.7%		+4.6%		-43.7%		-100.0%		-63.7%		-100.0%		-		-9.1%		+4.4%	
R3年平均金額(既遂)		3,608,131		1,404,118		3,143,133		1,393,363		1,785,727		0		2,808,250		0		0		1,831,079		2,077,016	

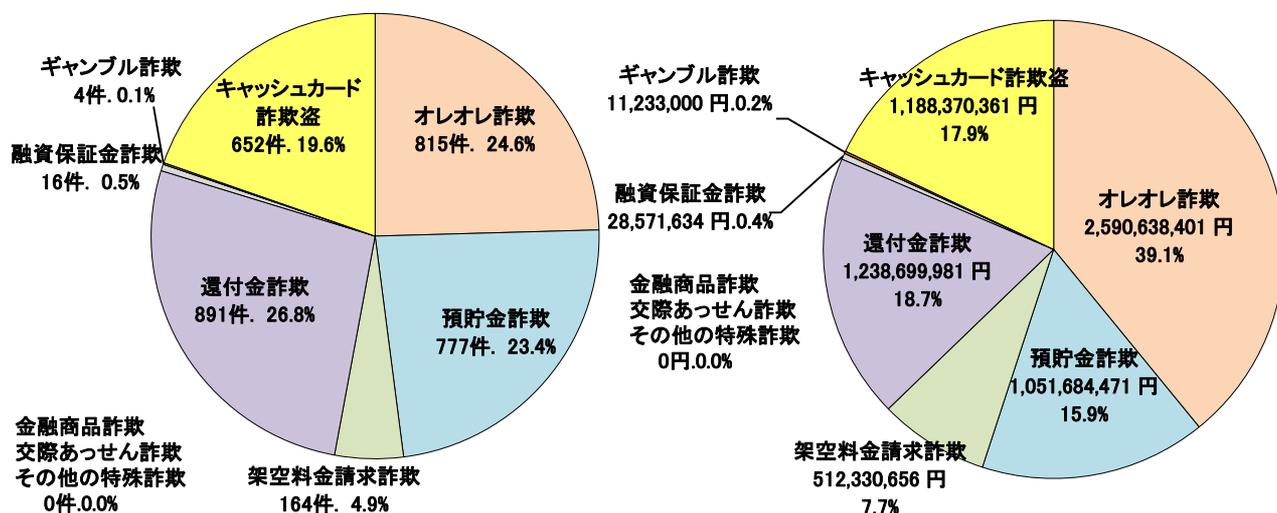
※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む(以下同じ。)

- R3年の被害については、認知件数3,319件、被害金額約66億2,000万円で、前年と比べ認知件数で423件(+14.6%)、被害金額で約2億8,000万円(+4.4%)増加した。
- 前年と比べ、キャッシュカード詐欺盗は減少したが、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、還付金詐欺の増加が顕著となっている。

## ウ 類型別の認知件数及び被害金額

【認知件数 3,319件】

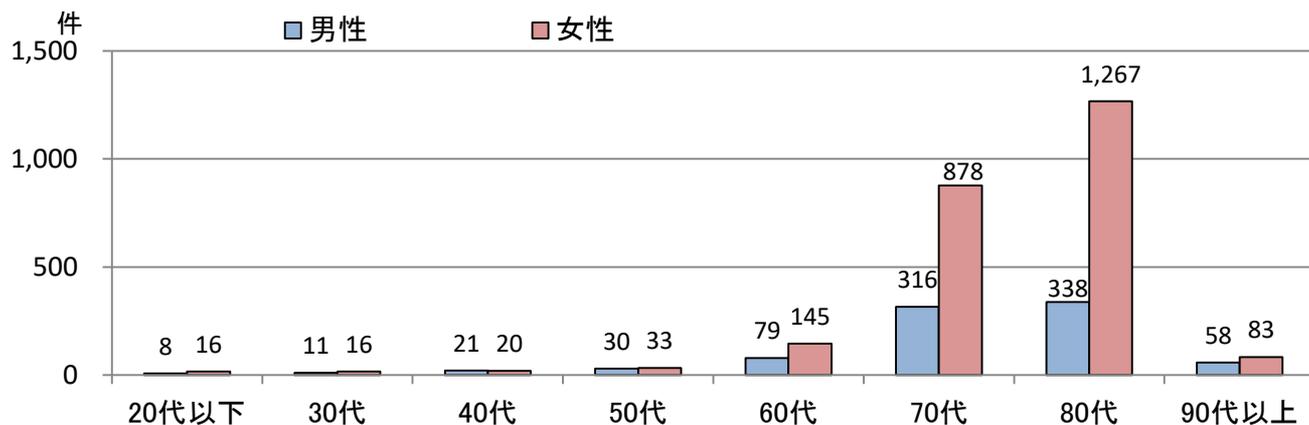
【被害金額 66億2,152万8,504円】



○ 認知件数は、還付金詐欺が26.8%(891件)を占め、次いでオレオレ詐欺が24.6%(815件)、預貯金詐欺が23.4%(777件)となっている。

○ 被害金額では、オレオレ詐欺が39.1%を占め、次いで還付金詐欺が18.7%、キャッシングカード詐欺盗が17.9%となっている。

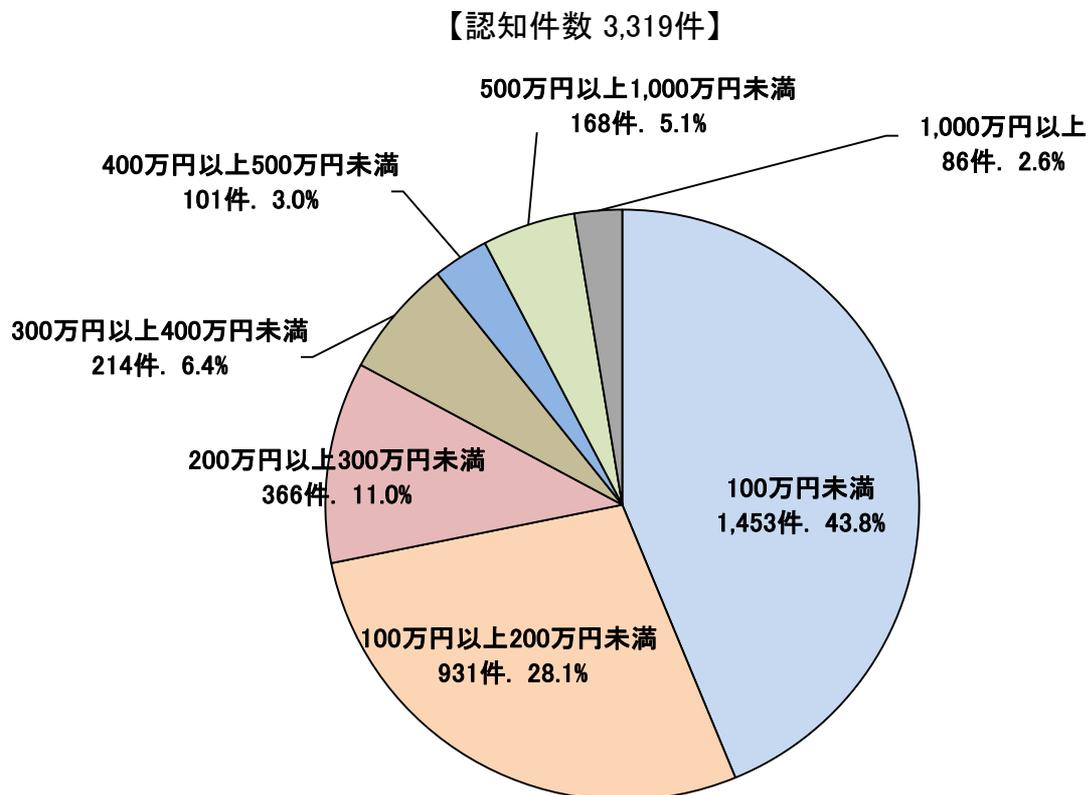
## エ 年代別・男女別の認知件数



R3年	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		男性	8	11	21	30	79	316	338	58	
	割合	0.9%	1.3%	2.4%	3.5%	9.2%	36.7%	39.3%	6.7%	100.0%	
	女性	16	16	20	33	145	878	1,267	83	2,458	74.1%
	割合	0.7%	0.7%	0.8%	1.3%	5.9%	35.7%	51.5%	3.4%	100.0%	
	合計	24	27	41	63	224	1,194	1,605	141	3,319	
	割合	0.7%	0.8%	1.2%	1.9%	6.7%	36.0%	48.4%	4.2%	100.0%	
	前年比	-3	±0	+11	-31	-26	+136	+329	+7	+423	
R2年	男性	13	14	13	42	106	262	266	48	764	26.4%
	割合	1.7%	1.8%	1.7%	5.5%	13.9%	34.3%	34.8%	6.3%	100.0%	
	女性	14	13	17	52	144	796	1,010	86	2,132	73.6%
	割合	0.7%	0.6%	0.8%	2.4%	6.8%	37.3%	47.4%	4.0%	100.0%	
合計	27	27	30	94	250	1,058	1,276	134	2,896		
割合	0.9%	0.9%	1.0%	3.2%	8.6%	36.5%	44.1%	4.6%	100.0%		

○ 被害者の割合は、80代が最も多く、70代以上が全体の約89%(2,940人)を占めている。  
男女別では、女性が74.1%(2,458人)を占めている。

## オ 被害金額別の認知件数



## カ 被害金等受取方法別の認知件数

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R3年	1,032	715	1,500	16	52	4	0	0	3,319
割合	31.1%	21.5%	45.2%	0.5%	1.6%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%
R2年	817	497	1,468	23	89	2	0	0	2,896
割合	28.2%	17.2%	50.7%	0.8%	3.1%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上。

- ・ 電子マネー ～ 有料サイト利用料金名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口
- ・ コンビニ決済 ～ コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて金銭等をだまし取る手口
- ・ ATM決済 ～ Pay-easy（ペイジー）で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM（現金自動預払機）等を利用させ、金銭等をだまし取る手口

○ 受取方法の割合で最も高いのが、カード手交で全体の45.2%を占め、次いで、振込が31.1%となっている。

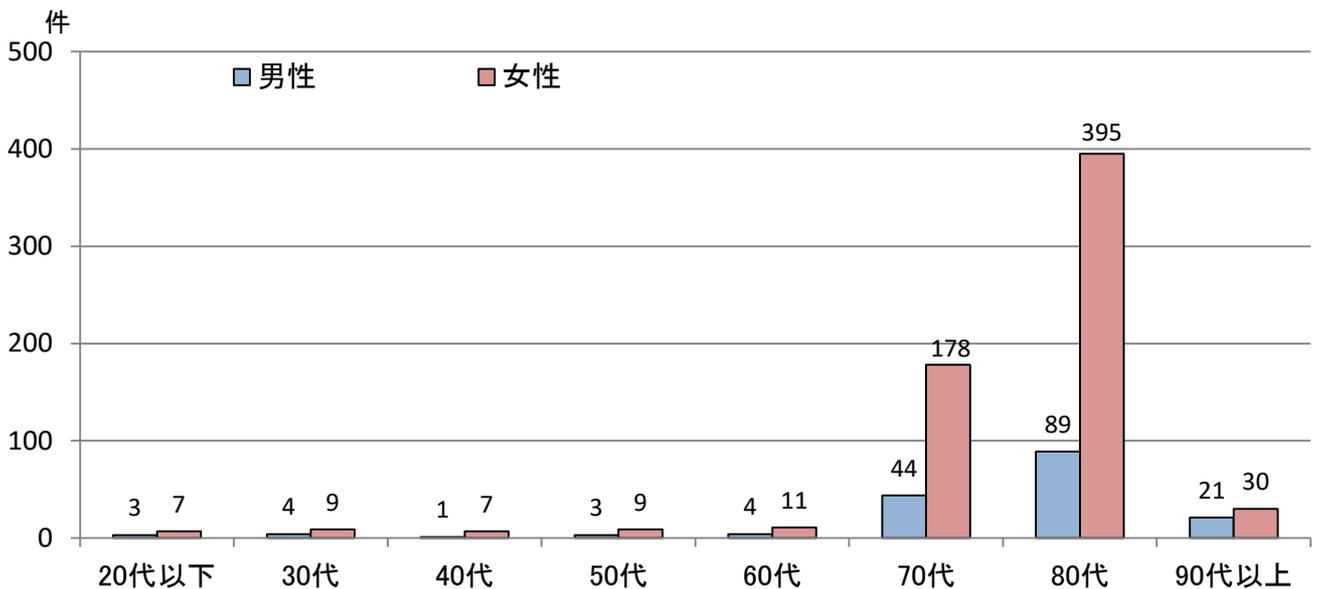
○ また、振込、現金手交、カード手交の合計の割合で、全体の97.8%を占める。

## (2) オレオレ詐欺

### ア 手口別認知件数

	R3年				R2年			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
傷害事件等示談金	6	5	1	6,500,000	8	7	1	14,711,000
横領事件等示談金	16	13	3	80,800,000	22	15	7	94,701,000
痴漢事件等示談金	0	0	0	0	6	5	1	7,190,000
妊娠中絶費用等	16	14	2	70,044,000	13	11	2	59,050,000
借金等の返済	9	9	0	35,800,000	7	7	0	14,800,000
損失補填金等	538	466	72	1,779,839,796	369	334	35	115,975,680
その他(上記以外)	230	211	19	617,654,605	141	134	7	580,728,885
合計	815	718	97	2,590,638,401	566	513	53	1,930,937,685
前年比	+249	+205	+44	+659,700,716				

### イ 年代別・男女別の認知件数



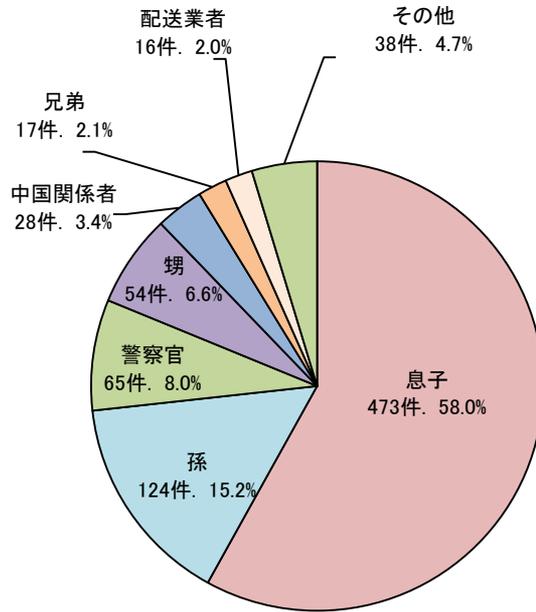
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R3年	男性	3	4	1	3	4	44	89	
	割合	1.8%	2.4%	0.6%	1.8%	2.4%	26.0%	52.7%	12.4%	100.0%	
	女性	7	9	7	9	11	178	395	30	646	79.3%
	割合	1.1%	1.4%	1.1%	1.4%	1.7%	27.6%	61.1%	4.6%	100.0%	
	合計	10	13	8	12	15	222	484	51	815	
	割合	1.2%	1.6%	1.0%	1.5%	1.8%	27.2%	59.4%	6.3%	100.0%	
	前年比	±0	+4	+5	+3	-7	+38	+192	+14	+249	
	増減率	±0.0%	+44.4%	+166.7%	+33.3%	-31.8%	+20.7%	+65.8%	+37.8%	+44.0%	
R2年	男性	5	1	0	1	6	33	57	10	113	20.0%
	割合	4.4%	0.9%	0.0%	0.9%	5.3%	29.2%	50.4%	8.8%	100.0%	
	女性	5	8	3	8	16	151	235	27	453	80.0%
	割合	1.1%	1.8%	0.7%	1.8%	3.5%	33.3%	51.9%	6.0%	100.0%	
	合計	10	9	3	9	22	184	292	37	566	
	割合	1.8%	1.6%	0.5%	1.6%	3.9%	32.5%	51.6%	6.5%	100.0%	

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の92.9%(757人)を占めている。男女別では、女性が79.3%(646人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体(70代以上89%・女性74.1%)と比べ、高い割合になっている。

## ウ 欺罔者(登場人物)別の認知件数

【オレオレ詐欺の認知件数 815件】

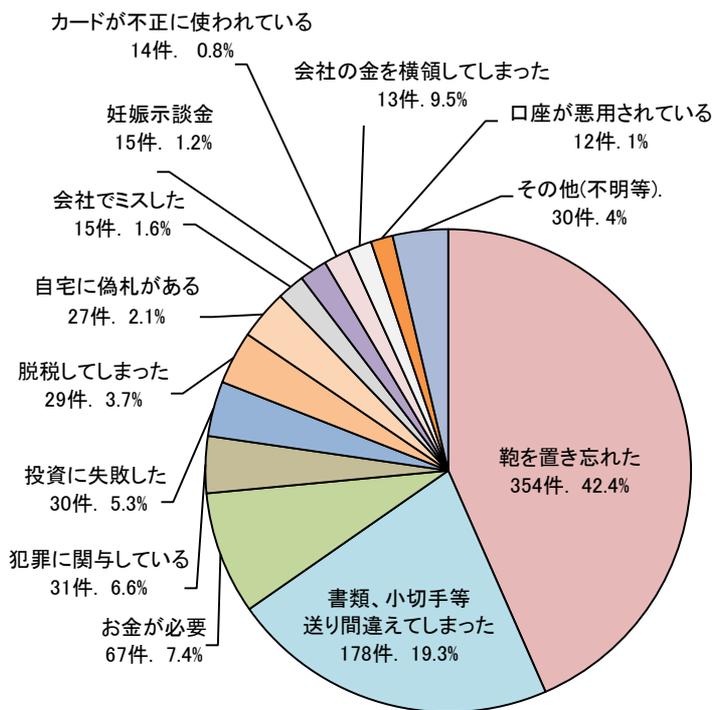


※ 最初に騙った人物を計上。

- 息子や孫等の「親族」騙りが全体の82%(668件)を占め、そのうち息子騙りが58%(473件)と最も多く、次いで孫騙りが15.2%(124件)となっている。

## エ 欺罔文言(だまし文句)別の認知件数

【オレオレ詐欺の認知件数 815件】

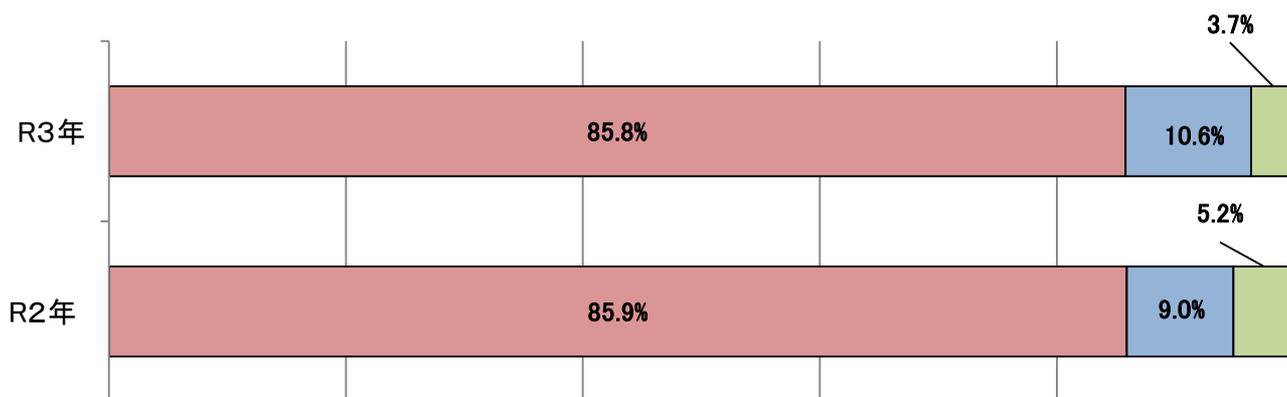


## オ 被害金等受取方法別の認知件数

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R3年	699	30	0	86	0	0	815
割合	85.8%	3.7%	0.0%	10.6%	0.0%	0.0%	100.0%
前年比	+213	+3	±0	+35	±0	-2	+249
増減率	+43.8%	+11.1%	-	+68.6%	-	-100.0%	+44.0%
R2年	486	27	0	51	0	2	566
割合	85.9%	4.8%	0.0%	9.0%	0.0%	0.4%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上。

■ 現金手交    ■ キャッシュカード手交    ■ その他(振込及び送付含む。)



### 【オレオレ詐欺の主な手口】

#### ○ 鞆を無くした（損失補填金等）

親族等を装い、「病院、駅、喫茶店のトイレ等に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 会社の大事な書類等の送り先を間違えた(損失補填金等)

親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などの送り先を間違えてしまい、お金が必要になった。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 会社の金を使い込んだ

親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 『偽札』にすり替えられている

警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの家に侵入して、お金を偽札にすり替えたようです。お金を確認するため、警察官を自宅に向かわせます。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

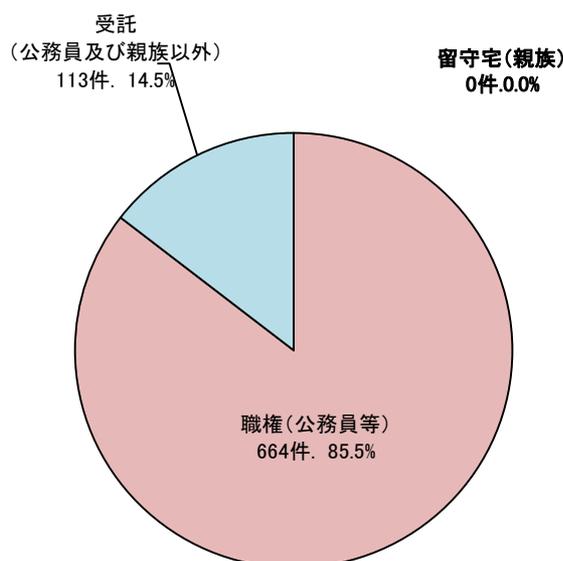
### (3) 預貯金詐欺

#### ア 手口別認知件数

	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権(公務員等)	664	643	21	940,840,111	592	576	16	1,082,719,010
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	113	106	7	110,844,360	86	78	8	102,642,434
合計	777	749	28	1,051,684,471	678	654	24	1,185,361,444
前年比	+99	+95	+4	-133,676,973				

#### イ 手口別割合

【預貯金詐欺の認知件数 777件】



#### 【預貯金詐欺とは】

##### ○ 職権(公務員等)

警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)等の者を騙り、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口

##### ○ 受託(公務員及び親族以外)

百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者に成りすまして、カード交換などの名目でキャッシュカードをだまし取る手口

#### 【主な手口】

##### ○ 還付金がある

区・市役所の職員等を装い、「市役所の者です。年金の還付金があります。銀行振込できますが、あなたのキャッシュカードは古いので、交換する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

##### ○ あなたのカードが犯罪に使われている

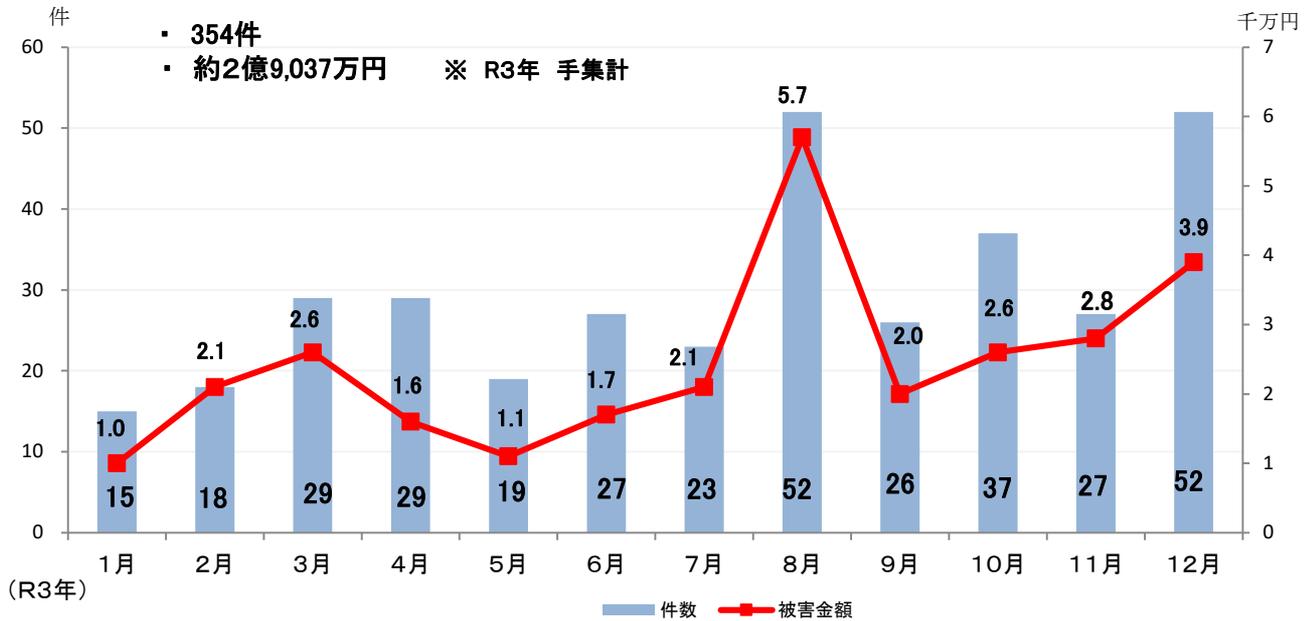
警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの口座からお金が引き出されています。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるため、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

##### ○ キャッシュカードに切れ込みやパンチで穴を開け安心させる

警察官等を装い「キャッシュカードが不正に使用され、あなたの口座からお金が引き出されています。」等とうそを言い、キャッシュカードに切れ込みを入れ(パンチで穴を開け)、もう使えなくなったと安心させて、キャッシュカードをだまし取る手口

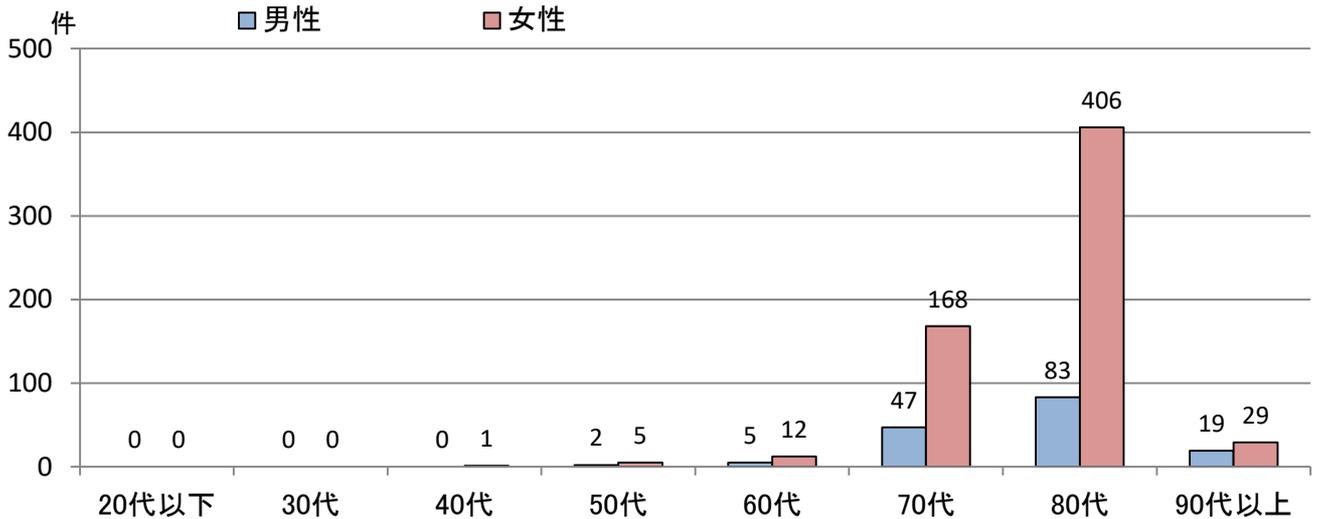
(参考)

『還付金』名目でキャッシュカードをだまし取る事案の件数及び被害金額



※ オレオレ詐欺、キャッシュカード詐欺盗に分類されるものも含む。

ウ 年代別・男女別の認知件数

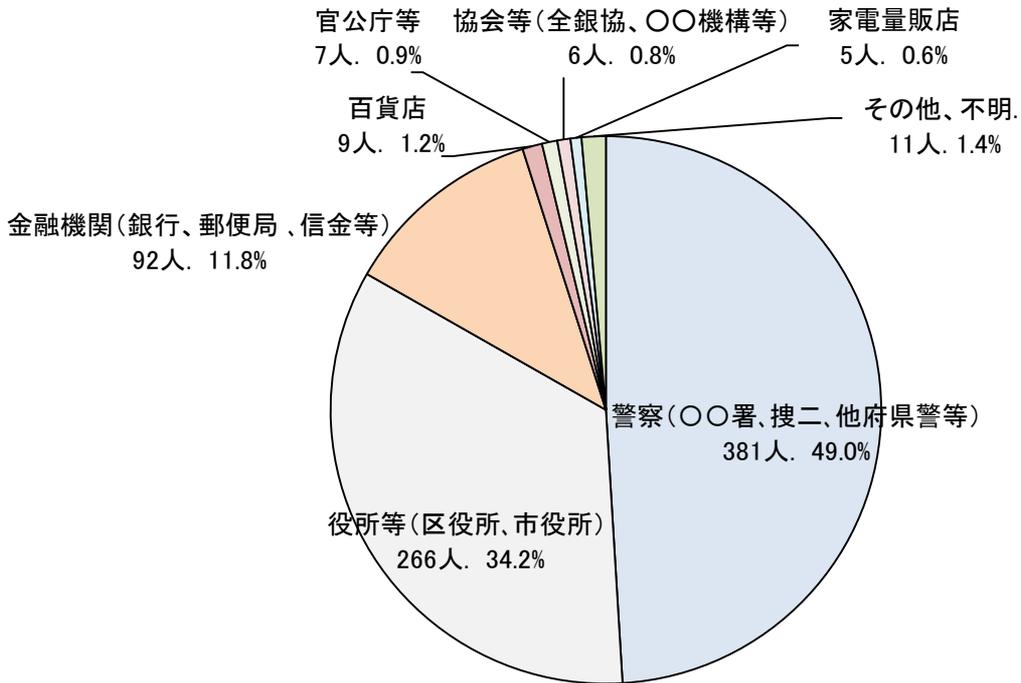


		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R3年	男性	0	0	0	2	5	47	83	19
割合	0.0%		0.0%	0.0%	1.3%	3.2%	30.1%	53.2%	12.2%	100.0%	
女性	0		0	1	5	12	168	406	29	621	79.9%
割合	0.0%		0.0%	0.2%	0.8%	1.9%	27.1%	65.4%	4.7%	100.0%	
合計	0		0	1	7	17	215	489	48	777	
割合	0.0%		0.0%	0.1%	0.9%	2.2%	27.7%	62.9%	6.2%	100.0%	
前年比	±0		±0	+1	-3	-11	+13	+105	-6	+99	
増減率	-	-	-	-30.0%	-39.3%	+6.4%	+27.3%	-11.1%	+14.6%		
R2年	男性	0	0	0	4	15	48	77	14	158	23.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	9.5%	30.4%	48.7%	8.9%	100.0%	
	女性	0	0	0	6	13	154	307	40	520	76.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	2.5%	29.6%	59.0%	7.7%	100.0%	
合計	0	0	0	10	28	202	384	54	678		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	4.1%	29.8%	56.6%	8.0%	100.0%		

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の96.8%(752人)を占めている。男女別では、女性が79.9%(621人)を占めている。いずれも、特殊詐欺全体の割合(70代以上89・女性74.1%)と比べ高くなっている。

エ 欺罔者(登場人物)別の認知件数

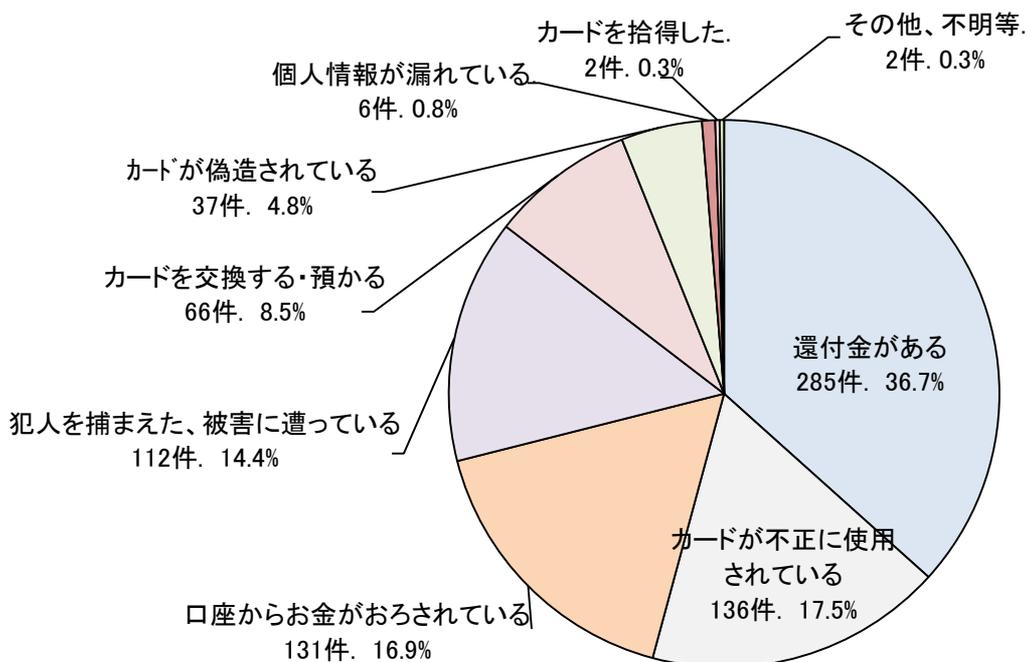
【預貯金詐欺の認知件数 777件】



※ 最初に騙った人物を計上。

オ 欺罔文言(だまし文句)別の認知件数

【預貯金詐欺の認知件数 777件】

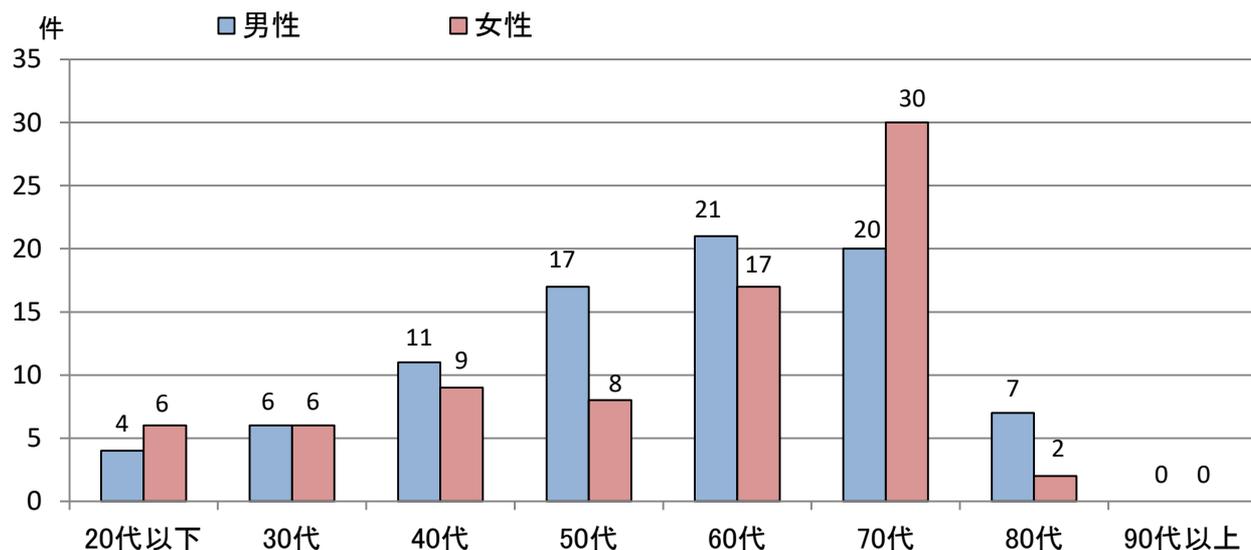


## (4) 架空料金請求詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有料サイト利用料金等	108	108	0	305,579,130	105	105	0	361,751,491
名義貸しトラブル等	1	1	0	5,000,000	2	2	0	8,200,000
情報買取抹消料金等	1	1	0	140,000	0	0	0	0
訴訟関係費用等	4	3	1	95,138,800	4	3	1	4,197,376
その他(上記以外)	50	50	0	106,472,726	48	48	0	199,328,577
合計	164	163	1	512,330,656	159	158	1	573,477,444
前年比	+5	+5	±0	-61,146,788				

### イ 年代別・男女別の認知件数



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R3年	男性	4	6	11	17	21	20	7		0
	割合	4.7%	7.0%	12.8%	19.8%	24.4%	23.3%	8.1%	0.0%	100.0%		
	女性	6	6	9	8	17	30	2	0	78	47.6%	
	割合	7.7%	7.7%	11.5%	10.3%	21.8%	38.5%	2.6%	0.0%	100.0%		
	合計	10	12	20	25	38	50	9	0	164		
	割合	6.1%	7.3%	12.2%	15.2%	23.2%	30.5%	5.5%	0.0%	100.0%		
	前年比	±0	+2	+6	-6	+5	-1	-1	±0	+5		
	増減率	±0.0%	+20.0%	+42.9%	-19.4%	+15.2%	-2.0%	-10.0%	-	+3.1%		
R2年	男性	6	7	6	18	12	27	5	0	81	50.9%	
	割合	7.4%	8.6%	7.4%	22.2%	14.8%	33.3%	6.2%	0.0%	100.0%		
	女性	4	3	8	13	21	24	5	0	78	49.1%	
	割合	5.1%	3.8%	10.3%	16.7%	26.9%	30.8%	6.4%	0.0%	100.0%		
	合計	10	10	14	31	33	51	10	0	159		
	割合	6.3%	6.3%	8.8%	19.5%	20.8%	32.1%	6.3%	0.0%	100.0%		

○ 男女を問わず各年代で被害が発生している。

## ウ 被害金等受取方法別の認知件数

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R3年	51	1	93	15	0	0	4	0	0	164
割合	31.1%	0.6%	56.7%	9.1%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%
前年比	-35	-1	+42	-4	±0	±0	+3	±0	±0	+5
増減率	-40.7%	-50.0%	+82.4%	-21.1%	-	-	+300.0%	-	-	+3.1%
R2年	86	2	51	19	0	0	1	0	0	159
割合	54.1%	1.3%	32.1%	11.9%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上。

- 受取方法の割合で最も高いのが、現金振込で56.7%(93件)を占め、次いで電子マネーが31.1%(51件)となっている。

### 【架空料金請求詐欺の主な手口】

#### ○ 有料サイト利用料金等名目

パソコン、携帯電話等に「有料サイトの利用料金等が未納である」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

#### ○ 『NTTファイナンス』騙り

「NTTファイナンスお客様サポートセンター」を名乗り、携帯電話等に「ご利用料金の確認がとれておりません」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「お金を納めないで裁判になります。本日中に納めてください。日本個人データ保護協会に申請を出せば支払ったお金の95%が返金されます。コンビニに行って電子マネーを購入してください。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

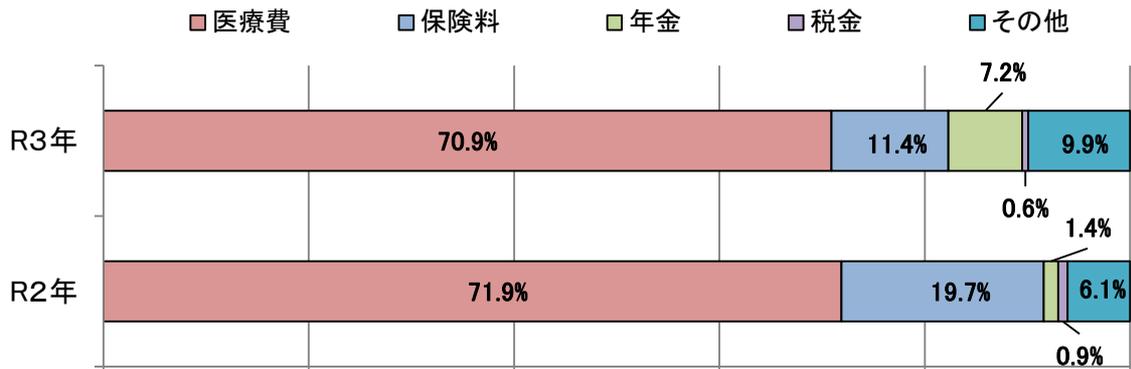
(5) 還付金詐欺

ア 手口別認知件数

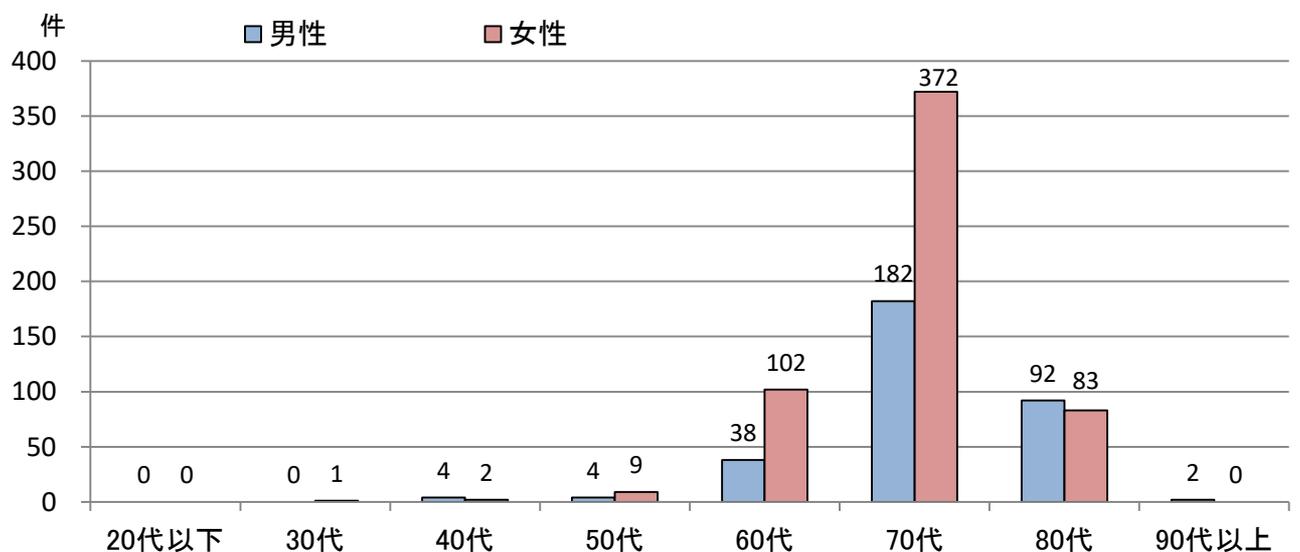
	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
医療費	632	630	2	858,662,455	503	503	0	863,649,047
健康保険・社会保険等	102	102	0	157,068,557	138	138	0	213,031,407
年金	64	64	0	95,892,118	10	10	0	11,703,790
税金	5	5	0	5,960,405	6	6	0	7,497,530
その他(上記以外)	88	88	0	121,116,446	43	43	0	88,838,035
合計	891	889	2	1,238,699,981	700	700	0	1,184,719,809
前年比	+191	+189	+2	+53,980,172				

イ 手口別割合

	医療費	保険料	年金	税金	その他	合計
R3年	632	102	64	5	88	891
割合	70.9%	11.4%	7.2%	0.6%	9.9%	100.0%
R2年	503	138	10	6	43	700
割合	71.9%	19.7%	1.4%	0.9%	6.1%	100.0%



ウ 年代別・男女別の認知件数



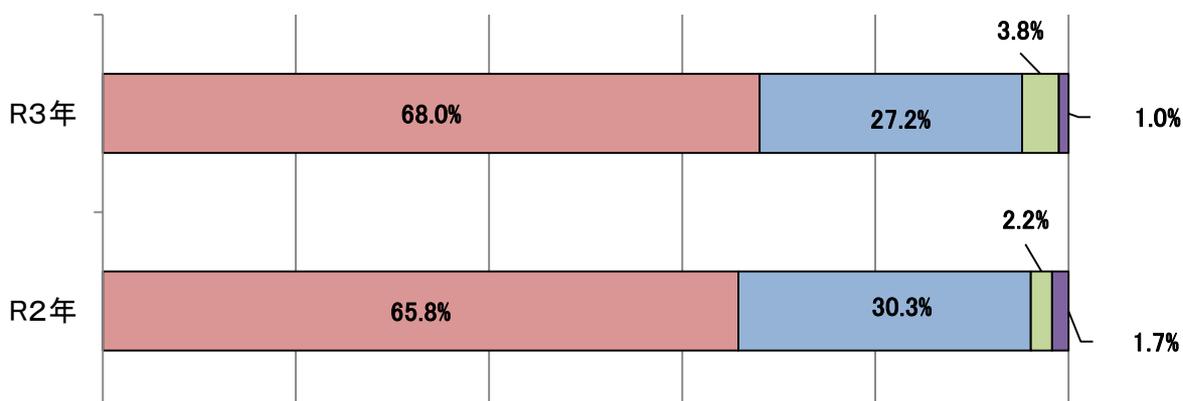
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R3年	男性	0	0	4	4	38	182	92	2	322	36.1%
	割合	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	11.8%	56.5%	28.6%	0.6%	100.0%	
	女性	0	1	2	9	102	372	83	0	569	63.9%
	割合	0.0%	0.2%	0.4%	1.6%	17.9%	65.4%	14.6%	0.0%	100.0%	
	合計	0	1	6	13	140	554	175	2	891	
	割合	0.0%	0.1%	0.7%	1.5%	15.7%	62.2%	19.6%	0.2%	100.0%	
前年比	-2	-2	+3	-10	±0	+211	-5	-4	+191		
	増減率	-100.0%	-66.7%	+100.0%	-43.5%	±0.0%	+61.5%	-2.8%	-66.7%	+27.3%	
R2年	男性	0	1	1	6	59	110	71	5	253	36.1%
	割合	0.0%	0.4%	0.4%	2.4%	23.3%	43.5%	28.1%	2.0%	100.0%	
	女性	2	2	2	17	81	233	109	1	447	63.9%
	割合	0.4%	0.4%	0.4%	3.8%	18.1%	52.1%	24.4%	0.2%	100.0%	
合計	2	3	3	23	140	343	180	6	700		
割合	0.3%	0.4%	0.4%	3.3%	20.0%	49.0%	25.7%	0.9%	100.0%		

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の82%(731人)を占めている。男女別では、女性が63.9%(569人)を占めている。

### エ 場所別の振込回数（被害者が誘導され振込んだ場所）

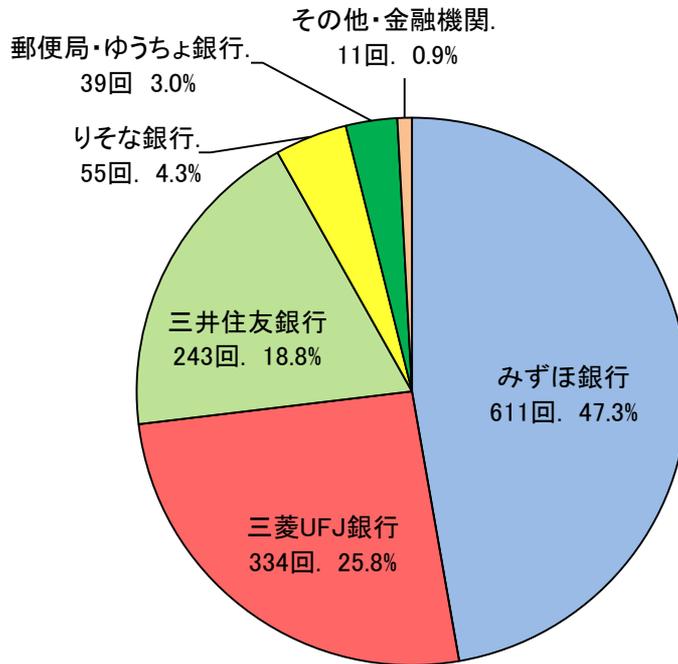
	金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	その他 不明	合計
R3年	1,293	517	73	19	1,902
割合	68.0%	27.2%	3.8%	1.0%	100.0%
R2年	1,229	567	41	32	1,869
割合	65.8%	30.3%	2.2%	1.7%	100.0%

■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■その他・不明



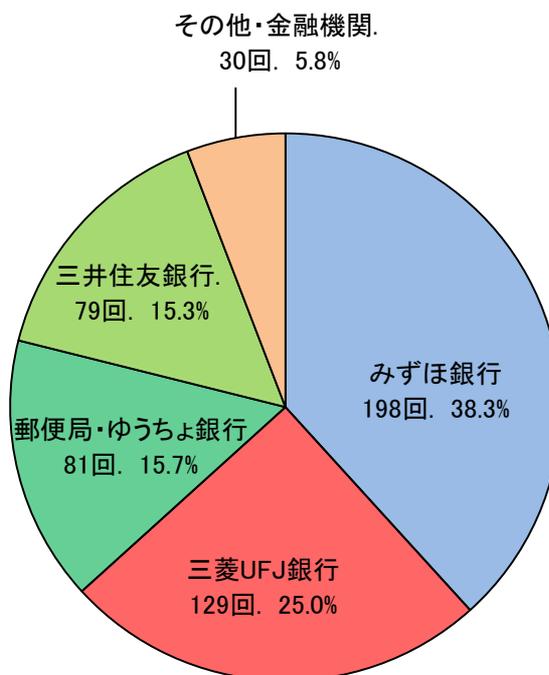
## 金融機関別【無人ATM】

【振込回数 1,293回】



## 金融機関別【店舗内ATM】

【振込回数 517回】



オ 口座別の振込回数等（被害者が開設・利用していた口座）

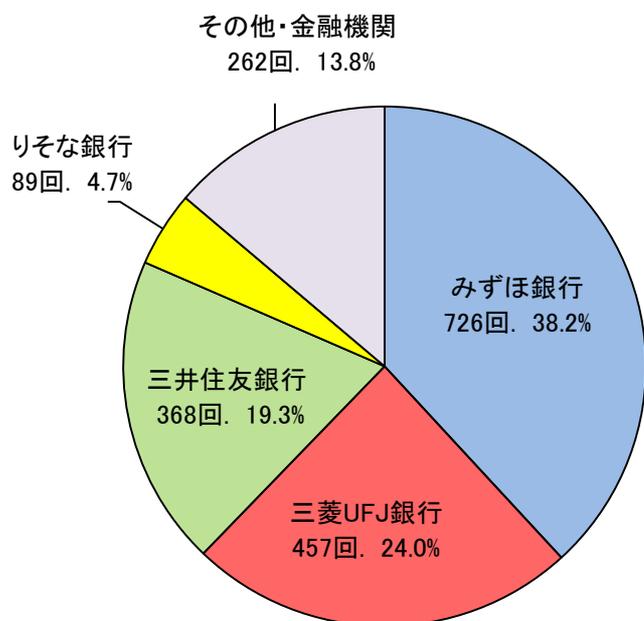
振込の回数

	みずほ銀行	三菱UFJ銀行	三井住友銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R3年	726	457	368	89	262	1,902
割合	38.2%	24.0%	19.3%	4.7%	13.8%	100.0%
R2年	677	403	366	86	337	1,869
割合	36.2%	21.6%	19.6%	4.6%	18.0%	100.0%

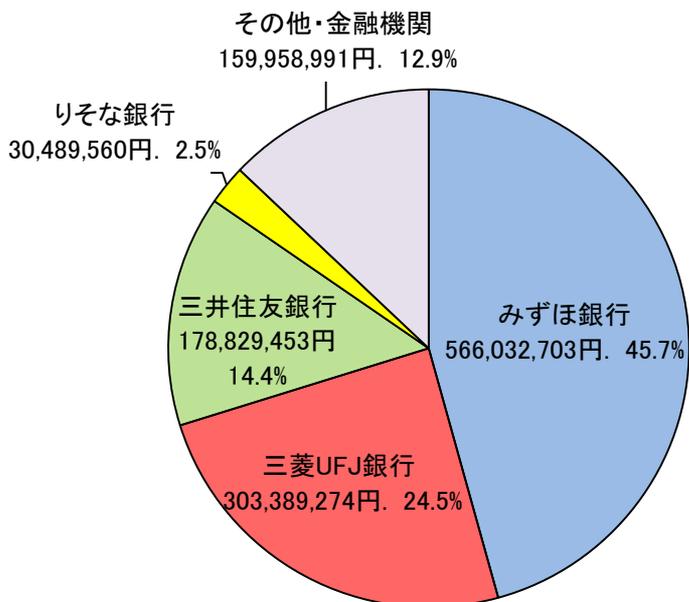
振込被害金額

	みずほ銀行	三菱UFJ銀行	三井住友銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R3年	566,032,703	303,389,274	178,829,453	30,489,560	159,958,991	1,238,699,981
割合	45.7%	24.5%	14.4%	2.5%	12.9%	100.0%
R2年	515,838,128	247,473,120	176,526,910	19,913,565	224,968,086	1,184,719,809
割合	43.5%	20.9%	14.9%	1.7%	19.0%	100.0%

【振込回数 1,902回】



【振込被害金額 12億3,869万9,981円】



## (6) 融資保証金詐欺

### ア 認知件数

	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
融資保証金	16	16	0	28,571,634	25	25	0	50,765,434
合計	16	16	0	28,571,634	25	25	0	50,765,434
前年比	-9	-9	±0	-22,193,800				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R3年	男性	1	1	3	2	2	2	2	0	13
割合	7.7%		7.7%	23.1%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	0.0%	100.0%		
女性	3		0	0	0	0	0	0	0	3	18.8%	
割合	100.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
合計	4		1	3	2	2	2	2	0	16		
割合	25.0%		6.3%	18.8%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%		
前年比	±0		-3	-1	-6	±0	+2	-1	±0	-9		
増減率	±0.0%	-75.0%	-25.0%	-75.0%	±0.0%	-	-33.3%	-	-36.0%			
R2年	男性	1	4	3	6	2	0	3	0	19	76.0%	
	割合	5.3%	21.1%	15.8%	31.6%	10.5%	0.0%	15.8%	0.0%	100.0%		
	女性	3	0	1	2	0	0	0	0	6	24.0%	
	割合	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	合計	4	4	4	8	2	0	3	0	25		
割合	16.0%	16.0%	16.0%	32.0%	8.0%	0.0%	12.0%	0.0%	100.0%			

#### 【融資保証金詐欺とは】

融資を申し込んできた者に対し、実際は融資をしないにもかかわらず、保証金等の名目で現金等をだまし取る(脅し取る)手口

#### 【手口例】

- 被害者宅事務所に、「融資できます。手続きのため、先に手数料や担保金を振り込む必要があるが、後で返金する。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から金銭等をだまし取るもの

## (7) 金融商品詐欺

### ア 手口別認知件数

	R3年				R2年			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
有価証券等	0	0	0	0	13	11	2	65,387,679
外国通貨	0	0	0	0	0	0	0	0
物品	0	0	0	0	2	1	1	2,500,000
その他(上記以外)	0	0	0	0	1	1	0	6,900,000
合計	0	0	0	0	16	13	3	74,787,679
前年比	-16	-13	-3	-74,787,679				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R3年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前年比	±0	±0	±0	-1	-3	-10	-2	±0	-16		
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R2年	男性	0	0	0	1	0	4	0	0	5	31.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	3	6	2	0	11	68.8%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%	100.0%	
合計	0	0	0	1	3	10	2	0	16		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	18.8%	62.5%	12.5%	0.0%	100.0%		

#### 【金融商品詐欺とは】

手形、小切手、株券、社債券等の有価証券や、外国通貨、物品等の名目で金銭等をだまし取る手口

#### 【手口例】

- 被害者宅の固定電話に架電し、会社員を名乗り、「金融庁の監査が入って、あなたに名義貸しの疑いがかけられています。回避するには、貯蓄債権を購入してもらえば、名義貸しがなかったことになります。」等とうそを言い、債権購入を促し、現金等をだまし取るもの

## (8) ギャンブル詐欺

### ア 手口別認知件数

	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
パチンコ必勝法等	0	0	0	0	2	2	0	2,975,000
競馬必勝法等	3	3	0	233,000	7	7	0	14,264,726
宝くじ当選情報等	1	1	0	11,000,000	1	1	0	13,730,000
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	4	0	11,233,000	10	10	0	30,969,726
前年比	-6	-6	±0	-19,736,726				

### イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R3年	男性	0	0	1	0	0	0	1	0
割合	0.0%		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	
女性	0		0	0	0	0	2	0	0	2	50.0%
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	0		0	1	0	0	2	1	0	4	
割合	0.0%		0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	
前年比	-1		-1	+1	-2	-3	-1	+1	±0	-6	
増減率	-100.0%	-100.0%	-	-100.0%	-100.0%	-33.3%	-	-	-60.0%		
R2年	男性	1	1	0	1	3	2	0	0	8	80.0%
	割合	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	1	0	1	0	0	2	20.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	1	1	0	2	3	3	0	0	10	
割合	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

#### 【ギャンブル詐欺とは】

パチンコ、競馬、競輪等の必勝法情報購入等の名目で金銭等をだまし取る手口

#### 【手口例】

- 被害者の携帯電話に「競馬必勝法を教えます。仕組まれたレースで、あらかじめ着順が決まっています。まずは、配当の2割を振り込んでいただき、残りの8割を後日振り込みます。」等のメールを送信し、犯人の指定した口座に現金等を振り込ませ、だまし取るもの

(9) 交際あっせん詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
交際あっせん	0	0	0	0	2	2	0	2,810,000
合計	0	0	0	0	2	2	0	2,810,000
前年比	-2	-2	±0	-2,810,000				

イ 年代別・男女別の認知件数

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R3年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前年比	±0	±0	-1	±0	±0	-1	±0	±0	±0	-2	
増減率	-	-	-100.0%	-	-	-100.0%	-	-	-	-100.0%	
R2年	男性	0	0	1	0	0	1	0	0	2	100.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	0	0	1	0	0	1	0	0	2		
割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

【交際あっせん詐欺とは】

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た男が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

(10) その他の特殊詐欺

認知件数

	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	±0				

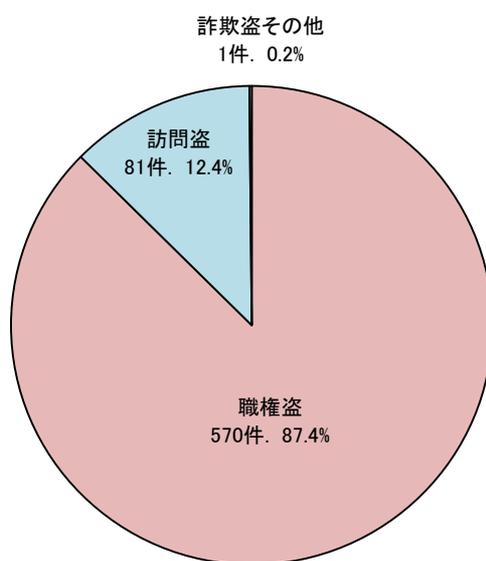
# (11) キャッシュカード詐欺盗

## ア 手口別認知件数

	認知件数	R3年			認知件数	R2年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権盗	570	567	3	1,048,489,361	668	659	9	1,196,603,582
訪問盗	81	81	0	138,681,000	71	71	0	108,675,110
詐欺盗その他	1	1	0	1,200,000	1	1	0	2,000,000
合計	652	649	3	1,188,370,361	740	731	9	1,307,278,692
前年比	-88	-82	-6	-118,908,331				

## イ 手口別割合

【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 652件】



### 【キャッシュカード詐欺盗とは】

- 職権盗 ～ 警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)などを騙る者が、カードの交換などの名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者になりすましてカードの交換等名目でキャッシュカードを窃取するもの

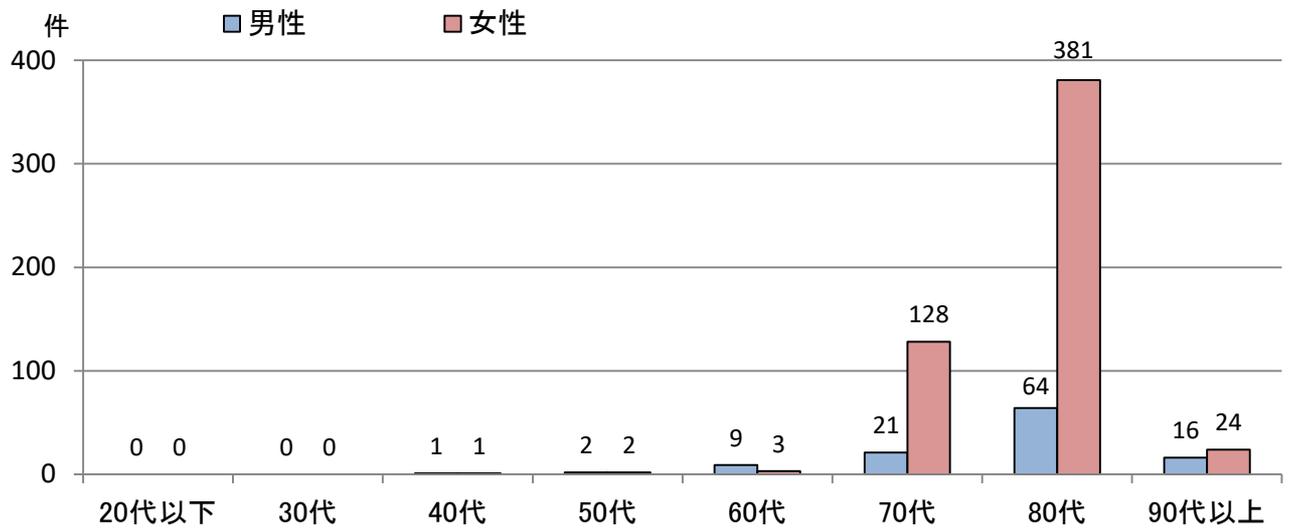
### 【主な手口】

- キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る  
警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの口座から現金が引き出されています。カードを確認する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

### 【手口例】

- 警察官等を装い、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向け、被害者が印鑑を取りに行った際に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

## ウ 年代別・男女別の認知件数



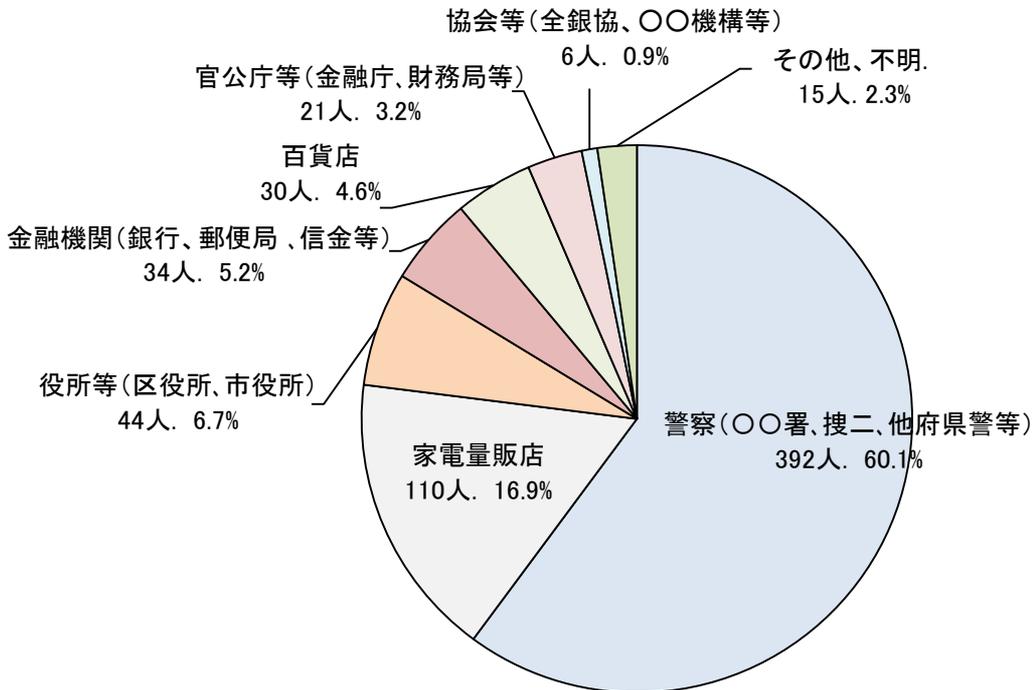
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R3年	男性	0	0	1	2	9	21	64	16
	割合	0.0%	0.0%	0.9%	1.8%	8.0%	18.6%	56.6%	14.2%	100.0%	
	女性	0	0	1	2	3	128	381	24	539	82.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.6%	23.7%	70.7%	4.5%	100.0%	
	合計	0	0	2	4	12	149	445	40	652	
	割合	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	1.8%	22.9%	68.3%	6.1%	100.0%	
	前年比	±0	±0	-3	-6	-7	-115	+40	+3	-88	
	増減率	-	-	-60.0%	-60.0%	-36.8%	-43.6%	+9.9%	+8.1%	-11.9%	
R2年	男性	0	0	2	5	9	37	53	19	125	16.9%
	割合	0.0%	0.0%	1.6%	4.0%	7.2%	29.6%	42.4%	15.2%	100.0%	
	女性	0	0	3	5	10	227	352	18	615	83.1%
	割合	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%	1.6%	36.9%	57.2%	2.9%	100.0%	
	合計	0	0	5	10	19	264	405	37	740	
	割合	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%	2.6%	35.7%	54.7%	5.0%	100.0%	

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の97.2%(634人)を占めている。男女別では、女性が82.7%(539人)を占めている。

いずれも特殊詐欺全体(70代以上89%・女性74.1%)と比べ、高い割合になっている。

## エ 欺罔者(登場人物)別の認知件数

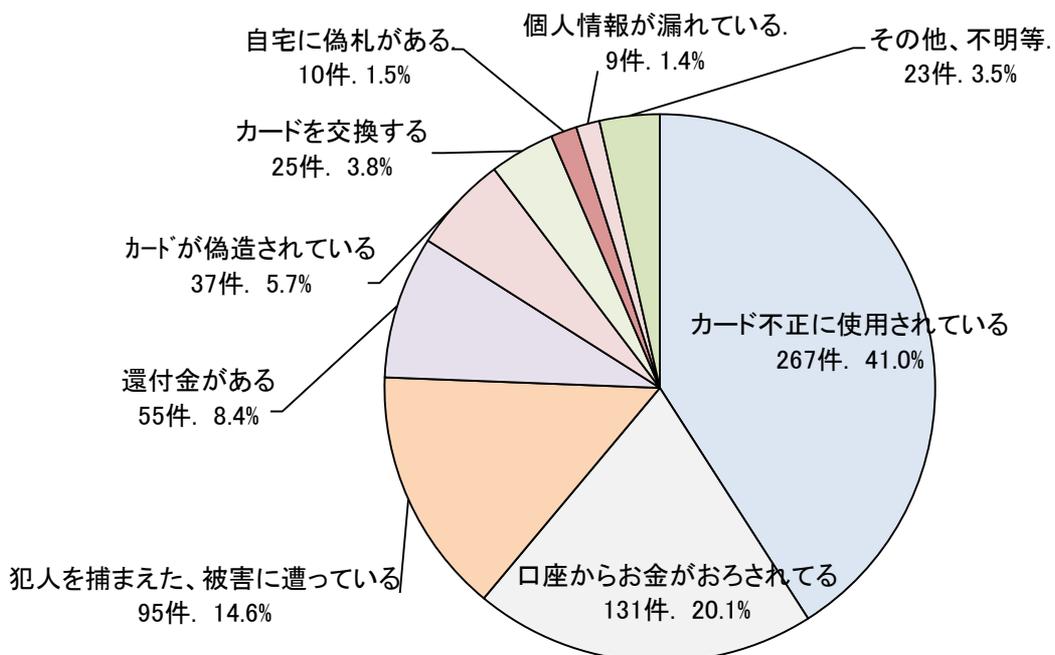
【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 652件】



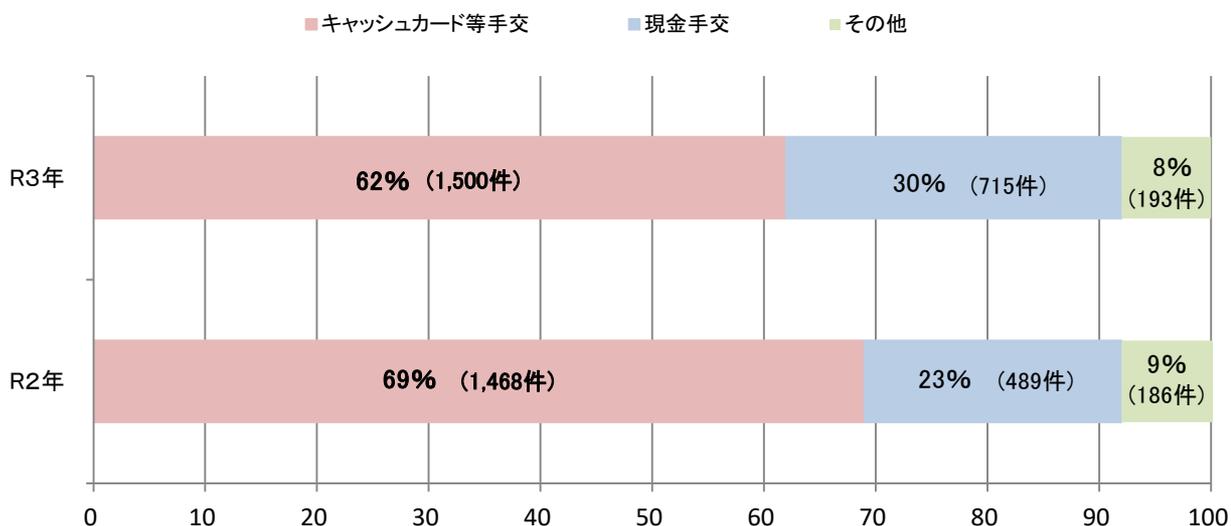
※ 最初に騙った人物を計上。

## オ 欺罔文言(だまし文句)別の認知件数

【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 652件】



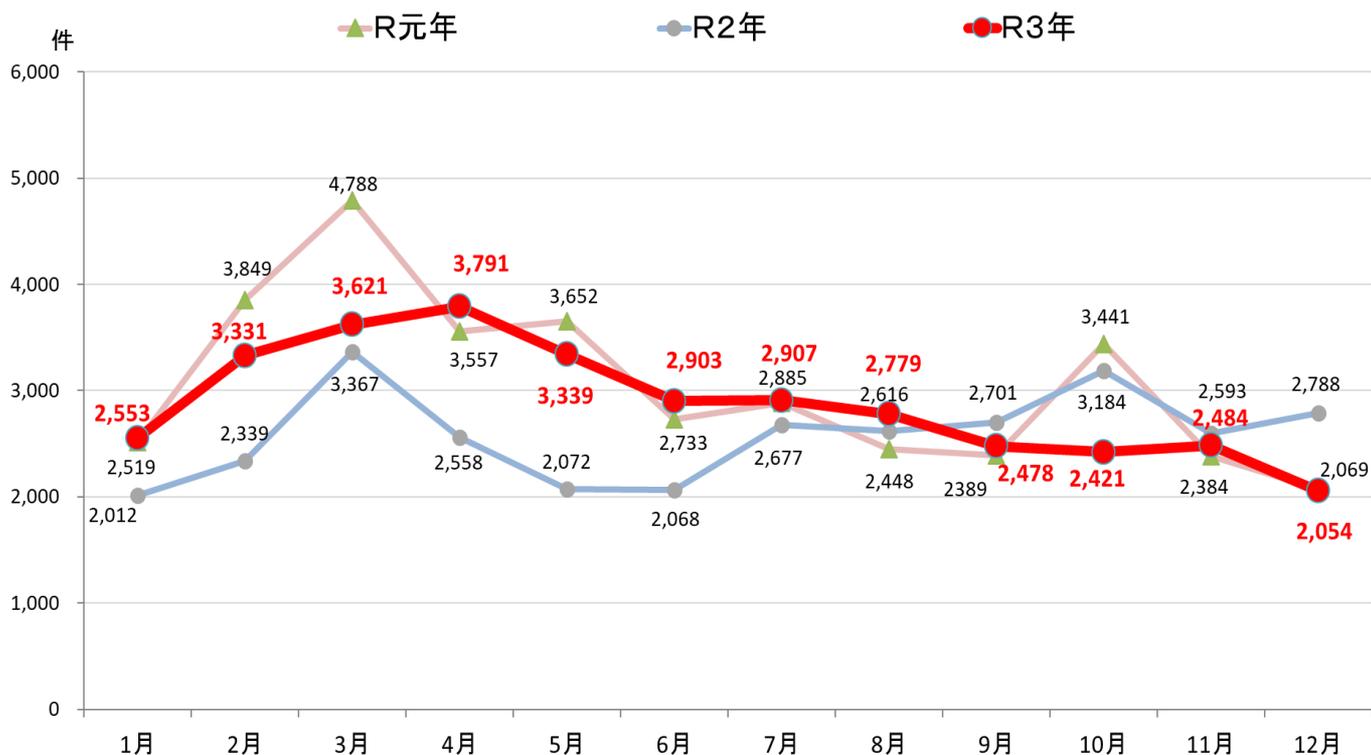
## (12) 特殊詐欺全体に占める金品手交等の種別割合



※ グラフの数値は、「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「架空料金請求詐欺」、「キャッシュカード詐欺盗」の合計を示す。(計2,408件)

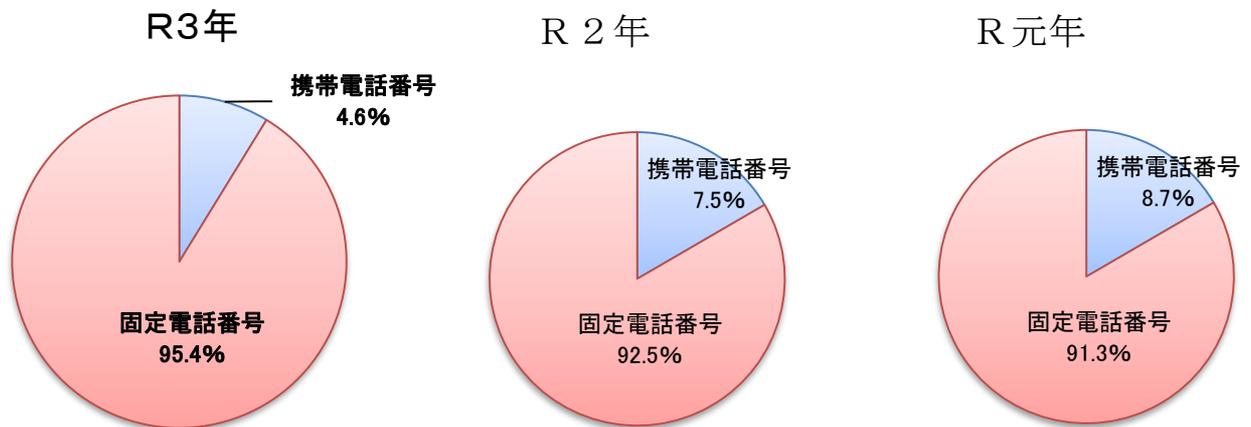
※ 「その他」は、「振込」、「送付」、「電子マネー」、「コンビニ決済」を示す。

## (13) 犯行予兆電話の通報件数



R 3年	3万4,661件	(前年比 +3,686件)
R 2年	3万0,975件	(前年比 -5,739件)
R 元年	3万6,714件	

## (14) 犯行利用電話の種別



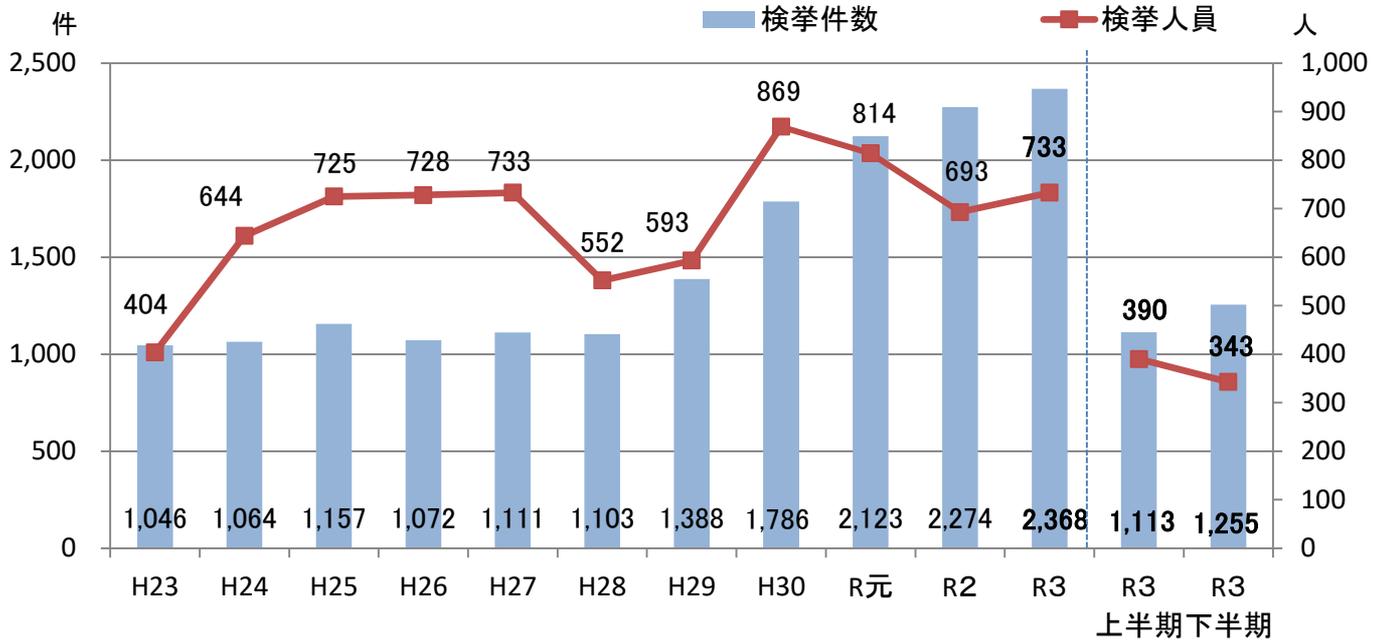
※ 当庁で把握した犯行利用電話の割合であり、非通知や電話番号不明のものは含まない。

※ 固定電話番号には、犯人が使用している固定電話や携帯電話からの発信を、インターネット上で電話転送し、被害者の電話に掛かってくる電話番号が『03又は06』等からはじまる全国の固定電話番号や『050』からはじまる電話番号で着信表示させるものも含む。

## 2 検挙状況

### (1) 特殊詐欺本犯

#### ア 検挙状況の推移 (H23~R3)



※ H23年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

#### イ 類型別の検挙状況

	R3年								R2年			
	件数				人員				件数		人員	
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	567	23.9%	+30	+5.6%	280	38.2%	+63	+29.0%	537	23.6%	217	31.3%
預貯金詐欺	653	27.6%	+389	+147.3%	175	23.9%	+32	+22.4%	264	11.6%	143	20.6%
架空料金請求詐欺	122	5.2%	-48	-28.2%	30	4.1%	-6	-16.7%	170	7.5%	36	5.2%
還付金詐欺	429	18.1%	+14	+3.4%	75	10.2%	+31	+70.5%	415	18.2%	44	6.3%
融資保証金詐欺	10	0.4%	-62	-86.1%	3	0.4%	-14	-82.4%	72	3.2%	17	2.5%
金融商品詐欺	2	0.1%	-6	-75.0%	5	0.7%	-7	-58.3%	8	0.4%	12	1.7%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	-1	-100.0%	0	0.0%	1	0.1%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	-5	-100.0%	0	0.0%	-2	-100.0%	5	0.2%	2	0.3%
その他の特殊詐欺	0	0.0%	-2	-100.0%	0	0.0%	±0	—	2	0.1%	0	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	585	24.7%	-216	-27.0%	165	22.5%	-56	-25.3%	801	35.2%	221	31.9%
合計	2,368	100.0%	+94	+4.1%	733	100.0%	+40	+5.8%	2,274	100.0%	693	100.0%

○ 前年と比べ、検挙件数及び検挙人員はともに増加している。

#### ウ 犯行拠点（アジト）摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R3年	13	16
R2年	11	32
前年比	+2	-16

## エ 年代別・男女別の検挙人員

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R3年	男性	117	315	117	60	32	8	5	0	0	654	89.2%
	割合	17.9%	48.2%	17.9%	9.2%	4.9%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	13	43	12	7	2	1	1	0	0	79	10.8%
	割合	16.5%	54.4%	15.2%	8.9%	2.5%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	130	358	129	67	34	9	6	0	0	733	
	割合	17.7%	48.8%	17.6%	9.1%	4.6%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	+14	-21	+13	+9	+18	+2	+5	±0	±0	+40	
増減率	+12.1%	-5.5%	+11.2%	+15.5%	+112.5%	+28.6%	+500.0%	-	-	+5.8%		
R2年	男性	104	342	111	53	13	6	0	0	0	629	90.8%
	割合	16.5%	54.4%	17.6%	8.4%	2.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	12	37	5	5	3	1	1	0	0	64	9.2%
	割合	18.8%	57.8%	7.8%	7.8%	4.7%	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	116	379	116	58	16	7	1	0	0	693	
割合	16.7%	54.7%	16.7%	8.4%	2.3%	1.0%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%		

- 年代別では、10代から30代までが、全体の84.2%(617人)を占め、60代以上は2%(15人)となっている。
- 男女別では、男性が89.2%(654人)を占めているが、前年と比べると、女性の比率が増加している。
- 男性の年代別では、10代から30代までが549人で、83.9%を占めている。
- 女性の年代別では、20代が最も多く54.4%(43人)となっている。

## オ 少年・暴力団・外国人別の検挙人員

		検挙人員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R3年	男性	654	117	93	21
	女性	79	13	0	6
	合計	733	130	93	27
	前年比	+40	+14	-58	-2
	割合	100.0%	17.7%	12.7%	3.7%
R2年	男性	629	104	147	25
	女性	64	12	4	4
	合計	693	116	151	29
	割合	100.0%	16.7%	21.8%	4.2%

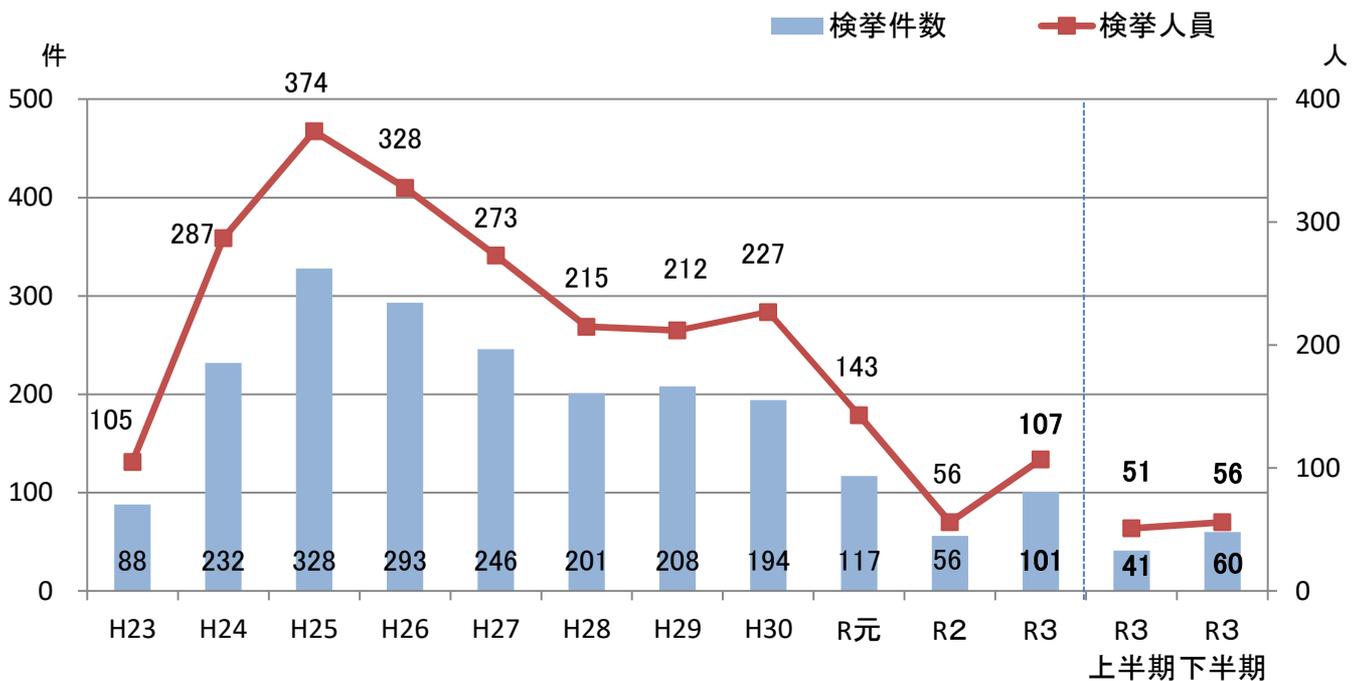
- 検挙人員のうち、少年17.7%(130人)、暴力団構成員等12.7%(93人)、外国人3.7%(27人)であり、前年と比べ、少年は14人増加し、暴力団構成員等は58人減少、外国人は2人減少している。

## カ 役割別・男女別の検挙人員

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合計
R3年	男性	14	8	33	80	399	17	50	53	654
	女性	0	0	1	7	64	2	2	3	79
	合計	14	8	34	87	463	19	52	56	733
	前年比	-1	-16	-26	+17	+75	±0	-17	+8	+40
	割合	1.9%	1.1%	4.6%	11.9%	63.2%	2.6%	7.1%	7.6%	100.0%
R2年	男性	15	23	56	64	342	18	65	46	629
	女性	0	1	4	6	46	1	4	2	64
	合計	15	24	60	70	388	19	69	48	693
	割合	2.2%	3.5%	8.7%	10.1%	56.0%	2.7%	10.0%	6.9%	100.0%

- 受け子の検挙人員は、全体の63.2%(463人)を占めている。
- 受け子の男女別では、男性が86.2%(399人)を占めているが、前年と比べると、女性の比率が増加している。
- 受け子の女性は、前年と比べ39.1%(18人)増加している。

## キ 現場設定(だまされた振り作戦)による検挙状況



- だまされた振り作戦による「現場設定検挙」は、前年と比べ、検挙件数は45件、検挙人員は51人増加している。

## (2) 特殊詐欺助長犯

### 類型別の検挙状況

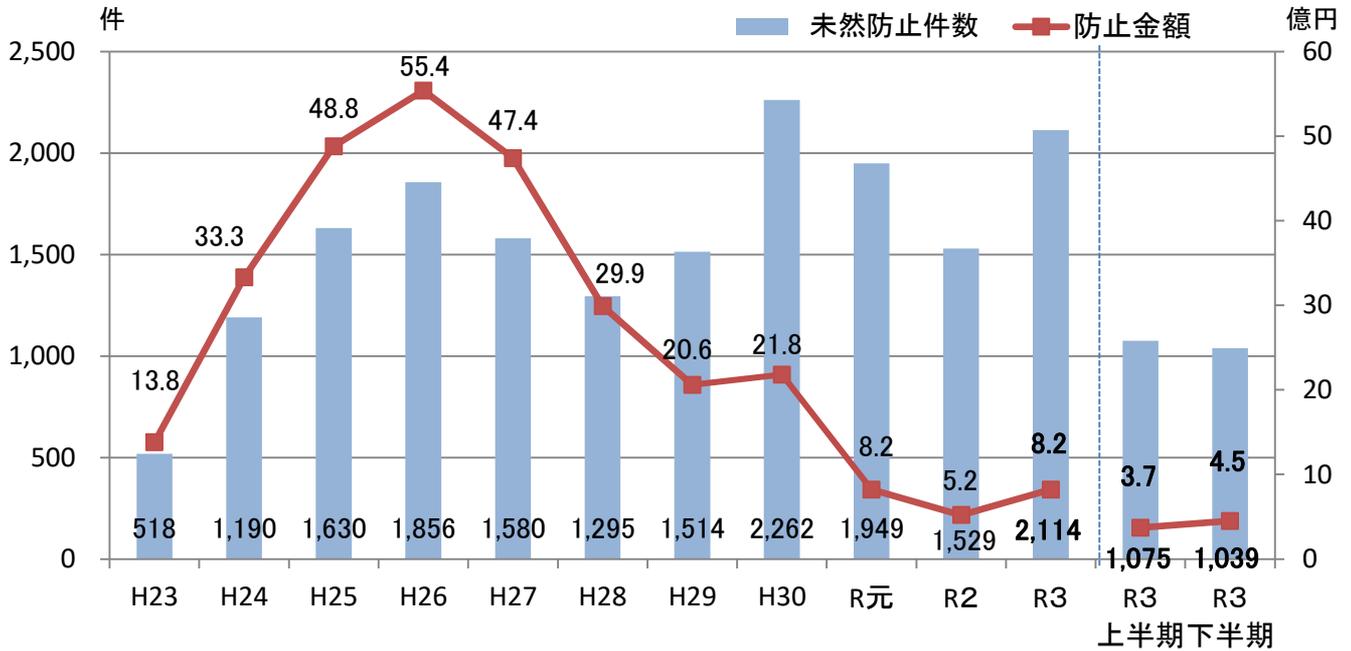
		口座開設詐欺	携帯電話契約詐欺	犯罪収益移転防止法違反	携帯電話不正利用防止法違反	合計
検挙件数	R3年	72	28	422	5	527
	R2年	84	62	379	4	529
	前年比	-12	-34	+43	+1	-2
	増減率	-14.3%	-54.8%	11.3%	25.0%	-0.4%
検挙人員	R3年	49	24	426	3	502
	R2年	50	40	334	3	427
	前年比	-1	-16	+92	±0	+75
	増減率	-2.0%	-40.0%	27.5%	0.0%	17.6%

○ 助長犯の検挙は、前年と比べ、検挙件数は2件減少し、検挙人員は75人増加している。

### 3 未然防止等の状況

#### (1) 未然防止全体

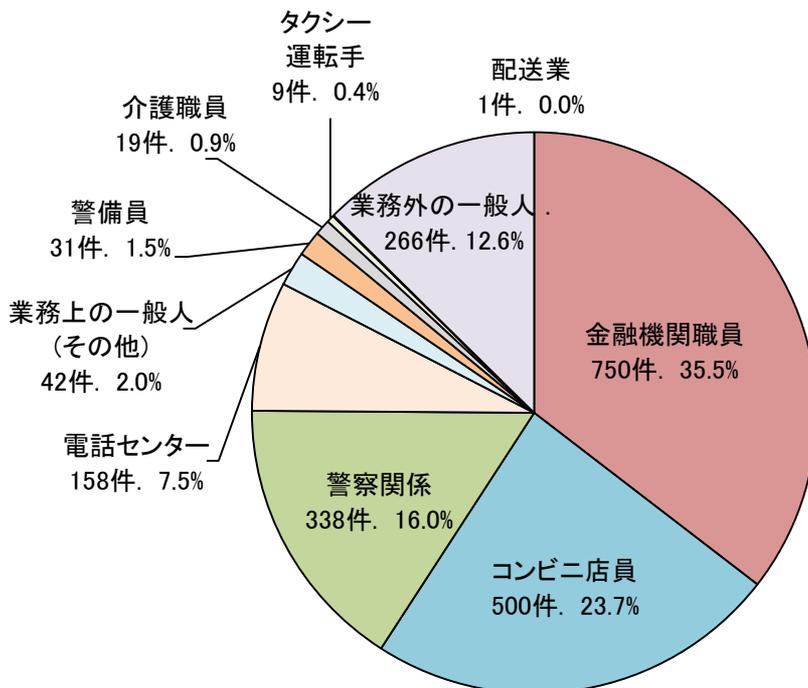
##### ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年と比べ585件増加、防止金額は、前年と比べ約3億円増加している。

##### イ 職種別の未然防止状況

【未然防止件数 2,114件】



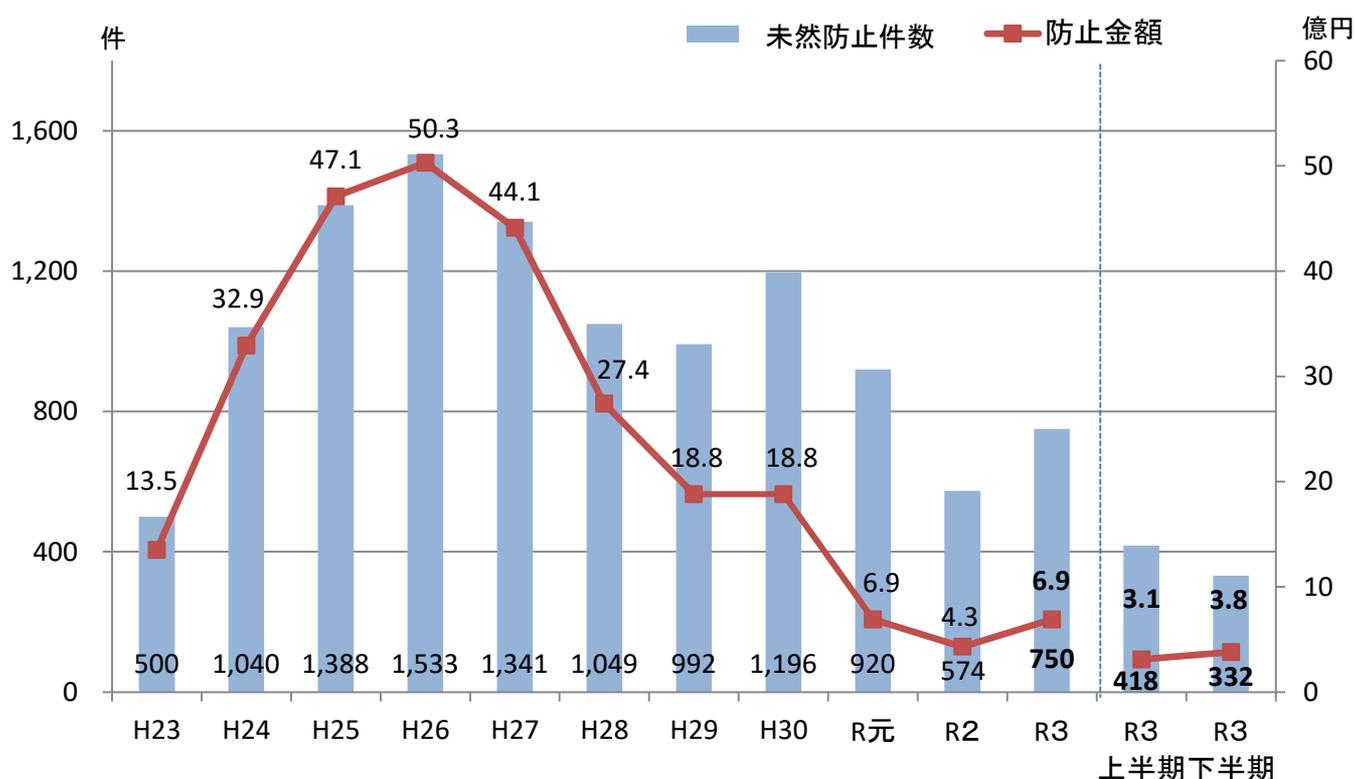
	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務上の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R3年	750	338	158	500	31	19	9	1	42	266	2,114
割合	35.5%	16.0%	7.5%	23.7%	1.5%	0.9%	0.4%	0.0%	2.0%	12.6%	100.0%
前年比	+176	+124	+16	+193	+11	+1	+3	-1	-13	+75	+585
増減率	+30.7%	+57.9%	+11.3%	+62.9%	+55.0%	+5.6%	+50.0%	-50.0%	-23.6%	+39.3%	+38.3%
R2年	574	214	142	307	20	18	6	2	55	191	1,529

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す。

- 金融機関職員による未然防止が、全体の35.5%(750件)を占めている。  
(うち、窓口での未然防止は426件。)
- コンビニ店員による未然防止が、前年に比べ、62.9%(193件)増加している。

## (2) 金融機関による未然防止

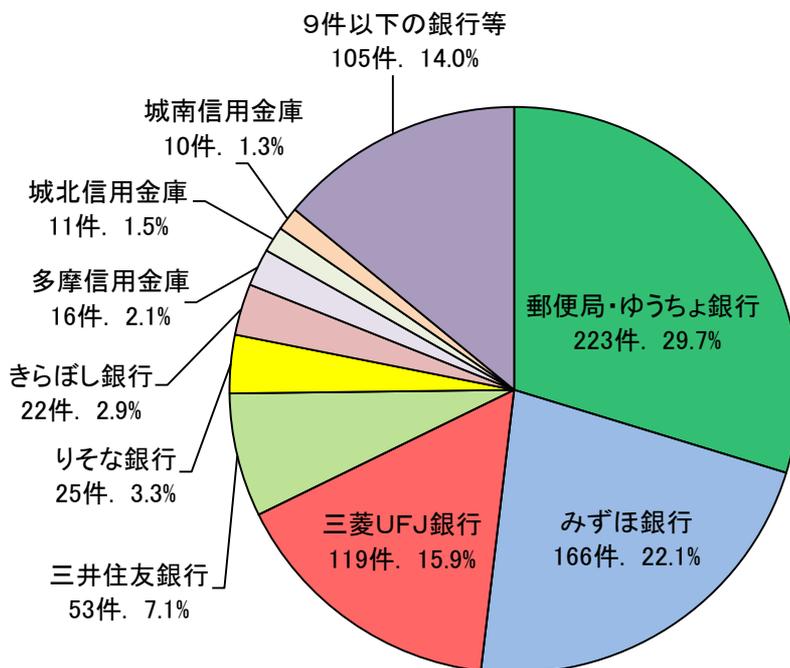
### ア 未然防止の推移



- 未然防止件数は、前年と比べ176件増加、防止金額は、約2億6,000万円増加している。

## イ 金融機関別の未然防止状況

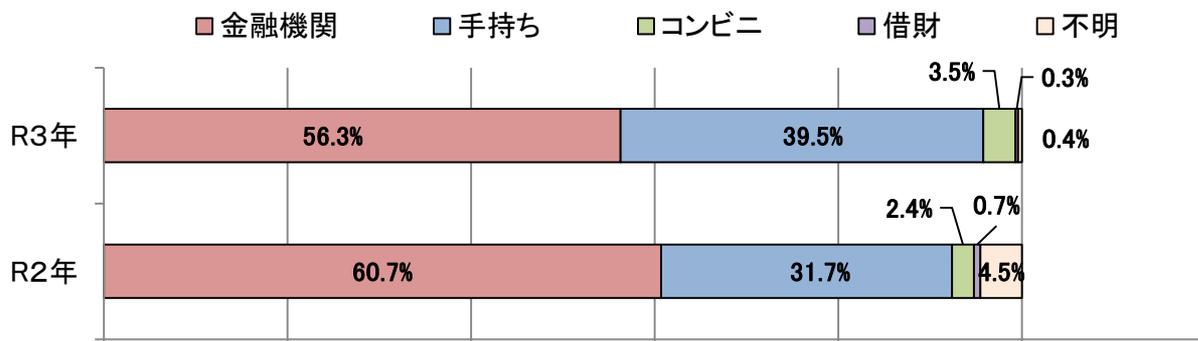
【未然防止件数 750件】



### (3) 被害者の被害金調達状況(全体)

#### 方法別の被害金調達回数

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R3年	636	40	3	446	5	1,130
割合	56.3%	3.5%	0.3%	39.5%	0.4%	100.0%
R2年	599	24	7	313	44	987
割合	60.7%	2.4%	0.7%	31.7%	4.5%	100.0%

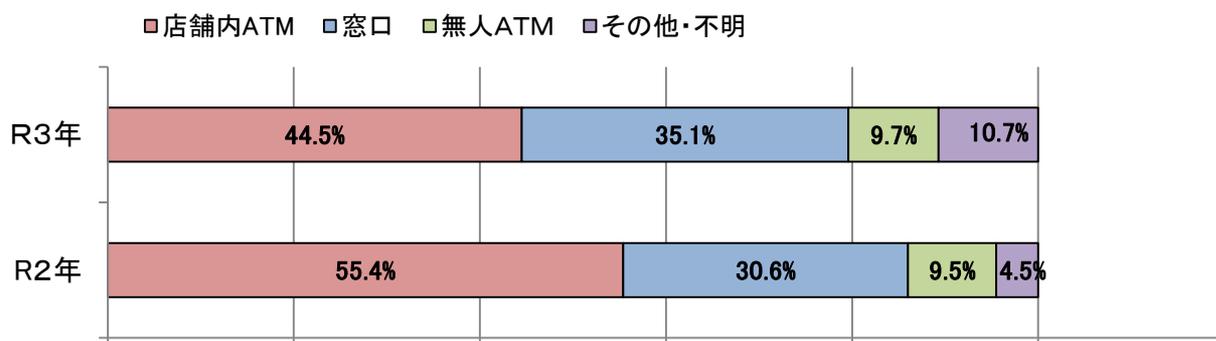


○ 被害金の調達には、手持ち現金（タンス預金等）の占める割合が増加している。

#### (4) 金融機関における被害金調達

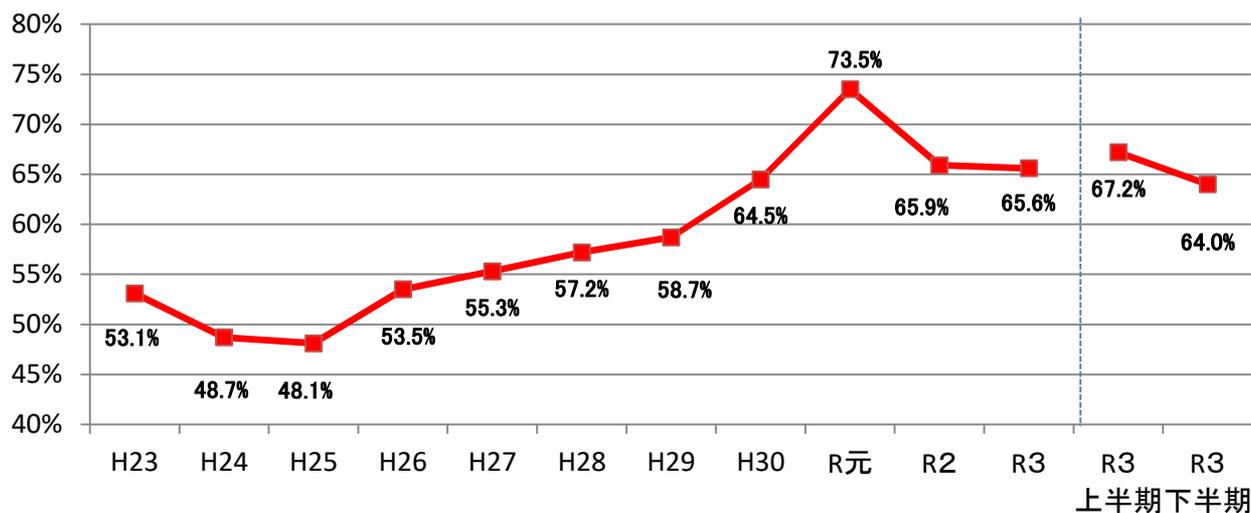
##### 方法別の被害金調達回数

	窓口	A T M			その他不明	合 計
		店舗内ATM	無人ATM	小 計		
R3年	223	283	62	345	68	636
割合	35.1%	44.5%	9.7%	54.2%	10.7%	100.0%
R2年	183	332	57	389	27	599
割合	30.6%	55.4%	9.5%	64.9%	4.5%	100.0%



○ 店舗内、無人を問わず、A T Mでの調達の割合は全体の54.2%(345回)を占めている。

#### (5) 金融機関窓口による未然防止率



※ 率=窓口での未然防止件数(426件)÷(窓口での未然防止件数(426件)+窓口での引き出し件数(223件))×100

##### 【被害金調達時における「被疑者の指示」】

○ 金融機関窓口で、行員等から預貯金の引き出し又は定期預金等の解約をする理由を聞かれた時に、被疑者から指示される回答例は、

R3年では

- ・ 旅行費用として
- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 子供(孫)の結婚費用として
- ・ お墓を購入するため
- ・ 財産整理として自宅に保管しておきたい
- ・ 車を購入するため

が大半を占めている。

## (6) 未然防止の好事例

### 1 「STOP! ATMでの携帯電話」ポスターを活用した警備員による未然防止

防止者は、警備員として都内駅前バスロータリーにおいて車両誘導に従事していたところ、携帯電話で通話しながら無人ATMに入る被害者（70代・男性）を発見した。

防止者は、詐欺被害ではないかと疑い被害者を追いかけると、被害者は区役所を騙る者と通話しながら、ATMを操作していた。

被害者が騙されていると確信した防止者は、被害者に近づきATM付近に掲示されていた「STOP! ATMでの携帯電話」ポスターを指差し「それは詐欺だよ」と声を掛け、被害を未然に防止した。

### 2 駅員による未然防止

防止者は、都内私鉄の駅窓口にて勤務中、駅構内のATMコーナーが利用者で長蛇の列になっているのを確認した。

防止者は、窓口からATMを注視すると、被害者(60代・女性)が携帯電話で通話しながらATMを操作しているのを発見した。

防止者は、同僚とともに被害者のもとへ向かうと、被害者はスピーカーフォンで区役所を騙る男と通話しており、年金の受け取り手続きとの内容であったことから詐欺の電話と確信し電話を切らせ、被害を未然に防止した。

### 3 配送業者による未然防止

防止者は、配達のため被害者(60代・女性)方を訪問すると、被害者は既に玄関先に立っており、慌てた様子であった。防止者は、被害者が不安そうな表情に見えたため事情を聴いたところ、「キャッシュカードを犯罪に使われて、もうすぐ警察の人がカードを取りにくる」と説明したことから、防止者は詐欺と看破し、110番通報をさせるとともに、被害を未然に防止した。

### 4 部下社員による未然防止

防止者は、社内において上司である被害者(50代・男性)が携帯電話で通話していた際、「NTTファイナンスから未払いの料金がある」等の会話内容を確認した。防止者は、架空の未払い料金を請求する詐欺の可能性が高いと思い、信じ込んでしまっていた被害者に対し、警察に訴え出るよう粘り強く説得し、直ちに110番通報して、被害を未然に防止した。

### 5 コンビニエンスストア店員による未然防止

防止者は、レジ業務中にマルチコピー機の前において携帯電話で通話している被害者(60代・男性)を発見した。防止者は、被害者がレジで電子マネーを購入し、さらに携帯電話で「サポートセンター」等と話していたことから、詐欺の可能性が高いと判断し被害者に声を掛けるとともに被害者からサポートセンターの連絡先を聞き、ネットで番号検索したところ、詐欺に使用されている番号であることが判明したことから、被害者を引き留め、被害を未然に防止した。